

官報

號外

明治二十九年三月十八日

水曜日 內閣官報局

○第九回 貴族院議事速記録第三十七號

明治二十九年三月十七日(火曜日)午前十時五十八分開議

議事日程 第三十七號 明治二十九年三月十七日

午前十時開議

- 第一 營業稅法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員報告) 第一讀會
- 第二 會計検査院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四 會計検査官退官ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 會計検査官懲戒法案(政府提出) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第八 河川法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十 裁判所ノ設立及位置並管轄區域ノ變更ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十二 大阪府下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十四 兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十六 埼玉縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十八 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第二十 千葉縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第二十二 茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第二十四 栃木縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

- 第二十六 福島縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第二十八 巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三十 富山縣下郡分離及廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三十二 鳥取縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三十四 島根縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三十六 熊本縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三十八 鹿兒島縣下郡廢置及郡界變更及郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四十 岡山縣兵庫縣境界變更並福岡縣大分縣境界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四十二 奈良縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四十四 三重縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四十六 滋賀縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四十八 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第四十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 昨日本院ニ於キマシテ可決ニ爲リマシタル政府提出地方學事通則中改正法律案ハ即日衆議院ニ送付致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ政府提出民法中修正案ヲ受領致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ本院送付ニ係ル政府提出獸疫豫防法案ニ關スル通牒ヲ受領致シマシテゴザイマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

獸疫豫防法案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治二十九年三月十六日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨日各特別委員會ニ於キマシテ當選ニナリマシタル委員長及副委員長ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

葉烟草專賣法案外一件

特別委員長

副委員長

開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸入ノ件ニ關スル法律案

特別委員長

副委員長

登錄稅法案

特別委員長

副委員長

集會及政社法中刪除法律案

特別委員長

副委員長

神奈川縣下郡廢置法律案外七件

特別委員長

副委員長

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨日日本席ヘ御委託ニナリマシタル酒造稅法案外四件特別委員ヲ選定ニ及ビマス、依テ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

酒造稅法案外四件特別委員

伯萬里小路通房君

男爵榎村正直君

男爵本田親雄君

男爵金子有卿君

兒玉淳一郎君

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 輸入棉花海關稅免除法律案及事業公債條例案ノ特別委員モ本席ヘ選定ヲ御委託ニナリマシタル、其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

輸入棉花海關稅免除法律案特別委員

公爵近衛篤磨君

子爵日野西光善君

尾崎三良君

男爵西五辻文伸君

山脇玄君

事業公債條例案特別委員

侯爵黑田長成君

名村泰藏君

富田鐵之助君

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨日橫尾彌一君ガ貴族院令第一條第五項ニ依リ貴族院議員ニ任ゼラレマシタルニ附キマシテ席次ノ事デゴザイマスルガ山田莊左衛門君ト同年月デゴザイマスルニ依テ席次ヲ定メルガタメニ書記官ヲシテ抽籤ヲ行ハシメマス

(抽籤執行)

田中芳男君

野崎武吉郎君

湯地定基君

小幡篤次郎君

加藤弘之君

久保田讓君

津田眞道君

渡邊正元君

渡邊甚吉君

森山茂君

山田莊左衛門君

橫尾彌一君

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今書記官ノ抽籤ノ通ニ序次ハ定リマシテゴザイマス、橫尾彌一君ノ部屬ハ第六部ト云フコトニ相成リマス、本日村田保君ヨリ八十三名ノ贊成ヲ以テ水産業保護ニ關スル建議案ヲ發議セラレマシテゴザイマス、是ヨリ會議ヲ開キマス、營業稅法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(公爵德川家達君演壇ニ登ル)

○公爵德川家達君 特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、去ヌル十日ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ其翌日ニモ委員會ヲ開キタク存ジマシタガ此法案ハ諸君ノ御承知ノ通、重要ナル法案ト委員會デ認メマシテ調査ノタメニ一兩日、間ヲ置キマシテ十三日ノ午前十時過ニ第一ノ委員會ヲ開キマシタ、其日ハ大藏大臣其外政府委員ノ出席ガゴザイマシテ質問ノミデ終リマシタ、翌十四日ニモ午前カラ委員會ヲ開キマシタ、其日モ午前ハ質問ノミデアリマシテ午後ニ至リマシテ質問ヲ終リマシテ大體ニ就イテノ討論ニ移リマシタ、然ル上ハ逐條ノ會議ヲ致シマシテ、其結果ハ諸君ノ御手許ヘ配布ニ相成リマシタ報告書ノ通、可決スベキモノト委員會デハ議決致シマシタ譯デゴザイマス、委員會ノ有様ハ曩ニ諸君ノ御手許ヘ配布ニ相成リマシタル委員會ノ速記録デ既ニ御承知ニナツテ居ルコト、委員長ハ考ヘテ居リマス、ソレデ此法案ノ條項ニ對スル御質問ノ答辯ハ願クハ政府委員ヲ煩シタク存ジマス、委員會ノ經過ニ附イテノ御質問ハ本員ヨリ委員長ノ資格ヲ以テ御答ヲ致シマス、是ダク御報告致シマス

○村上桂策君 少々質問ヲ……本案ハ地方稅改正法律案トモ申ス程ニ地方稅ニ關係ヲ持ッテ居リマスル案ト本員ハ慥ニ考ヘテ居リマス、ソレニ附イテ將來(聽取シ難シ)附キマシテ聊カ質問ヲ致シ置カヌケレバナラヌト考ヘル、唯今委員長ヨリ成ルベク質問ハ政府委員ニ質問ヲサル、ヤウニト斯ウ云フ御報告ガアリマシタ、幸ヒ大藏大臣ガ御出席デアリマス、大藏大臣ニ質問ヲ致シマス、此法案ヲ實施スルニ附イテハ地方稅ニ缺額ヲ生ズルモノガ二百幾萬有ル、併ナガラ一方ヨリシテ國稅ト云フモノヲ廢シテ地方稅ニ移スモノガ百四十萬有リ又本案ノ三十六條ニ據ッテ附加稅トシテ地方稅ニ入ルベキモノガ百四十萬

圓餘殆ト百五十萬圓合セテ是ガ殆ト三百萬圓、其中デ二百九萬圓ヲ引クト殘
ル所ハ八十萬圓程地方稅ニ餘裕ヲ生ズル、又ソレテ不足ヲ生ズルナラバ三百
二十萬圓程ノ地租割制限以外ノ餘裕ガ有ル、シテ見レバ此ニ於テ四百萬圓餘
リ地方經濟ニ餘裕ガ有ルカラシメテ地方經濟ヲ憂フルコトハアルマイト斯ウ政
府ガ言ハルハヤウニ委員會ノ速記録ヲ承知ヲ致シマシテゴザイマス、ソレカ
ラ私ハ大ニ此點ニ就テ疑ヲ懷イタノデゴザイマス、政府ノ根據トシテ居ル
所ハ即チ二十六年度ヲ以テ基礎トシテ居ルト斯ク言ハレテ居ル、二十六年
度ノ地方經濟ノ費額高ハ殆ト一千五百萬圓程ト承テ居リマス、二十六年
度ノ地方經濟ヲ以テ支辨シタ所ノ費額總高デゴザイマス、其二十六年
度ハ今日カ
ラ見マスルト大ニ物價ガ廉カッタ時ト考ヘマス、又一般ノ實況ハドウデア
タカト云フト帝國議會ガアツテモ二十六年ハ消極的ノ方針ヲ取ツタラウト考
ヘマス、從テ又地方議會モ同シ方針ヲ取ツテ居タモノト考ヘテ居リマス、
ソコデ二十六年度ノ物價ノ廉イ所ト又地方議會ノ方針ト云フモノ、之ヲ以テ
將來基礎トスルト云フ點ニ至テハ私ハ大ニ疑團ヲ生ズルノデゴザイマス、
先ヅ二十六年度ノ決算報告ニ依テ見マスルト政府ノ言ハル、所デハ一千五
百萬圓、此二十九年度ノ府縣會...地方稅ヲ以テ支辨スル所ノモノヲ以テ見
ルト私ノ考ヘル所デハ二割以上ハ上ツテ居ルモノト考ヘル、假ニ二割以上
上ツテ居ルト考ヘマス、一千五百萬圓ニ二割ヲ乘シマスルト先ヅ三百萬圓ト
云フモノガ差ヲ生ズルコトニナリマス、云フ疑團デアリマス、尙ホ又地方稅
ヲ以テ支辨スベキ經費ノ最モ重モナル點、二三點ヲ舉ゲテ私ハ將來政府ノ方
針及議會ノ方針ヲ確メ置カヌケレバ先ヅ地方議會ハ殆ト迷惑ヲ致スデアラウ
ト考ヘマス、先ヅ地方稅支辨ヲスベキ經費ノ費目ハ御承知ノ如ク澤山有リマ
ス、其中最モ重モナルモノヲ舉ゲテ御尋ヲシマス、先ヅ教育費ノ事デゴザイ
マス、此教育費ノ事ハ如何デアリマセウカ、昨年教育費ノ改正ニ附キマシテ
地方ノ負擔スル所ノモノハ或府縣ニ於テハ殆ト一倍或ハ二倍以上ニ上ツテ居
ラウト考ヘマス、其教育令改正ニ附キマシテ地方ノ教育費モ高クナルト云フ
コトハ是ハ地方ニ於テ最モ... (聽取シ難シ) 又全國ノ上ニ於テモ費額ヲ要
スルコトハ明デアアル、年々歲々勢ヒ多額ニ爲ラザルヲ得ヌデアリマス、又一
ツニハ勸業費デ、政府ハ農工銀行勸業銀行ノ案モ既ニ衆議院ニ於キマシテ可
決サレマシタ、是等ノ發達ヲ圖リマスニハ勸業費ノ額ヲ上シ其發達ヲ圖ラナ
ケレバ到底目的ヲ達シ得ナイモノト私ハ考ヘテ居リマス、是等ノ事ニ至ツテ
モ政府ハ如何ナル方針ヲ取ラレテ居ルカ、又一ツニハ治水費ノ事デアリマス、
治水費ナルモノハ、隨分地方經濟ノ最モ多額ヲ要スルモノデアリマス、治水ノ
事ハ實ニ忽セニ出來ナイモノデアアル、先ヅ費用ノ點ニ就テ多額ナルモノデ
アリマス、ソレガタメニ治水ノ改良ガ出來ナイガタメニ土地ヲ流シ家屋ヲ流
シ或ハ生命ニモ關スルカラ早晩此治水ノ事ニ就イテハ最モ一日モ早ク改良ヲ
セヌケレバナラヌモノト私ハ深ク考ヘテ居ルノデゴザイマス、又衛生及病院
費ノ事デアリマス、ソレ等ニ對シテモ隨分將來ハ費額ガ嵩ムモノト私ハ認メ
テ居リマス、其他萬般地方ノ經費ヲ以テ... (聽取シ難シ) 持ッテ行ッテ増シ
テ行カヌナラヌモノガ澤山有リマス、是レ皆發達ヲ圖ランカ、費用ヲ要スル
ノデアリマス、次デハ又義ニ國庫支辨ノ監獄費ヲ地方經濟ニ移シ、ソレデ以
テ地方經濟ノ負擔ハ重クナル、ソレガタメニ地方ノ費用モ幾分か私ハ發達ヲ

妨ゲテ居ラウト考ヘテ居リマス、然ル處デ此地方經濟ハ何ヲ以テヤルカト申
スト御承知ノ如ク三種ヲ以テ地方經濟ヲ致シテ居ル、地租割、營業及雜種稅、
戶數割、此三種ヲ以テ地方經濟ノ費額ニ充テ、居ルノデアリマス、然ル所營
業稅ナルモノハ附加稅ニアラズ地方獨立ノ...
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 村上君ニ御注意致シマスガ、成ルタケ質問ノ要
領ヲ御述ニナルヤウニ...
○村上桂策君 大事ノ問題デ地方ノ事情ヲ詳ニ致シタイト思ヒマス、此ノ如
キ事ハ十分ニ辯論ヲ...
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 併シ御意見ヲ御述ニナル時期ハ別ニゴザイマス
カラ御質問ノ要領ヲ御述ニナルヤウニ致シタイ
○村上桂策君 是ハアナタ方ガ十分御考ヘニ...必ズ質問ノ猶豫ヲ御與ヘニ
ナラヌト却テ遺憾ヲ見マスカラ、是ハ最モ必要ノ質問デアリマスカラ、マア
御靜カニ、ソコデ此三種ノ營業稅ヲ國庫ヘ七八分移スト爲リマス、如何デア
リマセウカ、將來地方自治... (聽取シ難シ) ナラシムルコトニナリハセヌ
カト私ハ大ニ考ヲ持ッテ居リマス、地方自治ハ如何ナルモノデアルカ、中央地
方分權ノ趣意ハ、地方ヲシテ盛ナラシムルト云フガ、地方分權ノ趣意デアラ
ウト思ヒマス、然ルニ地方自治ヲシテ盛ナラシムル其費額ヲ國庫ニ之ヲ移ス
ト云フコトニ至ツテハ、將來地方自治即チ地方稅ヲ以テ支辨スル所ノ費目ニ
對シテ將來政府ガ如何ナル方針ヲ以テ立テタルト云フ譯デアリマス、如何
ナル御意見デアアルカ十分ニ承ツテ置カヌト本案ニ對シテ私ハ意見ヲ定ムル
ニ最モ困難ヲ生ズル、大體地方稅ヲ以テ支辨スル所ノ費額ノ點ニ就イテ費目
ノ上ニ於テ將來政府ノ方針ヲ一應伺ヒタイト考ヘマス
(國務大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル)
○國務大臣(子爵渡邊國武君) 唯今ノ御質問ハ將來地方ニ於テ勸業衛生教育
種々ノ事業ガ起ルカラ、段々費用ガ増シテ行ク譯デアアルガ、政府ノ此度ノ地
方經濟ト相關聯スル所ノ說明デハイカヌデハナイカト云フ趣意ノヤウニ承リ
マシタ、政府ノ見ル所デハ、既ニ此度地方ノ經濟ノ收入中ヨリ國庫ニ移シタ
ノガ幾何、國庫ノ財源ト爲ルベキモノ、又附加稅其他菓子稅船車稅等ガ幾何、
其間デ對照比較シテ見ルト地方ノ財源ヲ國庫ニ移シタノト地方ニ於テ更ニ賦
課スベキ財源等ヲ較ベレバ尙ホ有餘アリ、然ラバ此營業稅改正ノタメニ地方
ノ經濟ニ差支ハ來タサヌト斯ウ云フ意味デアリマスカラ、唯今御列舉ニナツ
タ如ク事業ガ起レバ此營業稅ヲ起サズ其儘置キマシテモ矢張同シ結果デアリ
マス、唯交換致シタメニソレ等ノ事業ニ對スル財源ニ不足ヲ告ゲルト云フ
事ニハ爲ルマイト思ヒマス
○村上桂策君 唯今大藏大臣ノ御答辯ハ甚ダ要領ヲ得マセヌ、先ヅ少シク質
問ガ長クナリマシタカラ或ハ質問ノ本領ヲ得ラレナカッタト思ヒマスニ依ッ
テ尙ホ質問致シマス、先ヅ第一ニ質問致シマスルノガ二十六年度ヲ基礎トシ
テ、ソレカラ今日ハ二割位ハ増シテ居ルノデアアル、此二十六年度ガ一千五百萬
アル、ソレカラ今日ハ二割位ハ増シテ居ルノデアアル、此二十六年度ガ一千五百萬
割増シテ居ルヤラ或ハ二割以上ニナツテ居ルヤラ又ハ二割以下カモ知レヌ、
ソレハ何トモ言ヘマセヌガ、凡ソ二割ト認メマス、シテ見ルト是ニ於テ三百萬
圓ト云フ差ガ違フテ來ルト思フ、二十六年度ヲ以テ之ヲ基礎トスルト云フコ

トハ元來誤テ居リハシマイカ、是ヲ以テ私共ハ大ニ安心ヲスルコトガ出來ヌ
ト云フ考デアル、ソコデソレガ間違テ居ルヤ否ヤト云フコトガ二十九年度ト
二十六年度ト差ガ有ルカ無イカト云フコトハ政府デ御取調ニナツタラ必ズ分
ラウト思ヒマス、又一ツハ何デス、現ニ此教育令改正ノタメニ地方費ガ非常
ニ殖エテ居ルト云フコトハ、是ハ政府ニ於テモ十分御承知ト思ヒマス、ソコ
ヲ以テ二十六年度ノ基礎トシテ此ノ如キ事ハ安心ガ政府モ出來マス、マイト思
フ、又協賛ヲスル我モソコヲ確メテ置カヌ以上ハ安心ガナラナイ、先ヅ之
ニ就イテ御答辯ヲ煩シマス

(國務大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 二十六年年度ヲ以テ照査致シマシタノハ最近年
度ニ依ツタ外何モ理由ハゴザイマセヌ、而シテ物價ガ騰ル故ニ勘定ガ間違ヒ
ハセヌカト云フヤウナ御問デアリマスガ、或ハ多少物價モ違ヒマセウ、併シ
今ノ場合ハ唯地方ノ費途ニ關スルノモノ物價ガ違フト云フサウ云フコトニナ
リマスガ、一般ノ利益モ國家ノ歲入出モ有ラユル物ノ物價ガ違フノデアリマ
スカラサウ云フ差支ハ起ツテ來マイト云フ見込デアリマス、ソレカラシテ教
育令其他ノ事ノ起ルト云フコトハ前ニモ申シマシタ通、唯今ハ此營業稅ヲ國
庫ニ移スコトニ就イテ問題ニ爲ツテ居リマスガ、營業稅ヲ國庫ニ移シテ國庫
ノ歲入ヲ地方ニ移ス、而シテ其間ニ如何ナル差ガアルカト言ヘバ、是ハ財源
等ヲ對照比較シテ格別有餘不足ノナイモノデアラナラバ、此營業稅ヲ國庫ニ
移シテ置イテモ移サイデモ不足ノ立タヌモノハ立タズベキモノハ立ツノ
デ、是ハ別問題トモザルヲ得ヌ譯デアリマス、此營業稅ニ就イテ地方ト關聯
シテ論ズベキモノハ唯地方ノ財源ヲ奪フテ、之ニ代ル財源ガ地方ニ何程ト差
向キ定メマス、既ニ營業稅ヲ國庫ニ移シテ相對照シテ財源ガ有レバ一向差
支ナイ見込デゴザイマス

○村上桂策君 尙ホ一言、大藏大臣ノ主トシテ御答辯ニナツタル所ハ物價等
ノタメニ……(聽取シ難シ)皆同様デハナイカト斯ウ云フコトデ……詰リ

營業稅ナルモノハ先日モ申述ベタ通、中央政府ヨリ地方ハ割與シタル財源即
チ徵收ノモノデアリマス、地方經濟ハ營業稅ヲ持ツテ行クコトハ今日十分許
シテアル、地方經濟ノ發達ヲ計レバ國庫ニ取ル程ノ營業稅デアリマス、地方
稅ニ對スル事項ガ政府ノ見所ト私ノ見所トハ大ニ違フノデアリマス、ソ
レヲ政府ガ……今大藏大臣ノ言ハレル所ハ既ニ營業稅法案ハ可決セラレタ
ノト見テ御答ニナツタモノデアル私ハマダ此營業稅法案ハ可決シナイノデア
ル、今日營業稅ハ地方稅ニ於テ獨立トシテ取除イテアルカラ大藏大臣ノ言ハ
ル、所ハ目的ガ違フテ居マセウト考ヘマス、斯様ナ目的ヲ以テ之ヲスルト云
フコトニ至ツテハ大藏大臣ノ言ハレル所ハ地方ノ事ハ更ニ御考ヘナイノデア
ラウカト斯ウ考ヘラレレ之ヲ論ズル(聽取シ難シ)サウシテ此勸業費デアリ
マス衆議院ニ發議ニナツテ居ル農業銀行勸業銀行等ノ關係ハ如何デアリマス、
地方ノ勸業銀行ノ發達セザル以上ハ此農業銀行ナリ勸業銀行ナリノ發達ヲ計
ラレルモノデアリマセウカ此政府ノ方針ハ如何デアリマセウカ次ニ治水ノ事
デアリマスガ是ハ今日此儘デ政府ハ安シナサルノ御考デアリマスガ是等ニ
至ツテハドウシテモ地方稅ニ餘裕ガナレバ(聽取シ難シ)率ザ知ラズ方針
ヲ定メテ置キマセヌト府縣會議員ガ大ニ方針ヲ誤リ困難ヲシヤウト思ヒマ

ス、地方經濟ノ方針ト云フノハ此案ニ於テ定マルモノト思ヒマス、政府ノ
取ル所ノ地方經濟ノ方針ヲ承リタイノデアリマス

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 唯今村上君ノ御問ノ事ハ既ニ前ニ略々要領ヲ
盡シテ居ルヤウニ考ヘマス、又勸業銀行農業銀行等ノ事ハ未ダ本院ノ議事ニ
モ上ラヌコトデアリマス、此問題ヲ加ヘテ此營業稅ト併セ議スルコトハ少
シ範圍ヲ逸出シテ居ルヤウニ考ヘマス、差控ヘマス、唯一事申シテ置クノ
ハ大藏大臣ハ既ニ此營業稅法案ハ可決セラレタル如ク考ヘテ居ルト申サレマ
シタガ決シテ可決セラレテ居ルト考ヘナイガ故ニ諸君ニ向ツテ協賛ヲ求ムル
タメ陳辯シテ居ルノデアリマス、又行ハレタ時ニハドウ云フ結果デアアルカト
云フノデアリマス、カハラ行ハレタ時ニモ決シテ差支ナイト申シタノデ、決シテ
之ヲ議決シタリト認メテ居ルト云フノハ間違デアリマス

○村上桂策君 ドウモ大藏大臣ノ言フコトハ何ヲ言フヤラ分リマセヌガ此地
方經濟ハ分ラヌト言ヒマスガ是ハ幸ヒ内務大臣モ御出席ニナツテ居リマスガ
是ハ内務省ハハ必ズ報告ニナツタモノト思フテ居リマスガ内務省ニハ報告ニ
ハナラナイノデアリマス、カ、ナツテ居レバ忽チニ分ル事デアルト思ヒマス、然
ルニ大藏大臣ハ分ラヌト言ヒマス、私ノ考デアハ地方議會ガ二十九年年度ノ豫算
案ハ必ズ内務省ニ在ツテハ御承知ト思ヒマスガ大藏大臣カラナリ内務大臣カ
ラナリ何レカラナリ、其處サハ分レバ宜シウゴザイマスガ、ソレデモ政府ハ
分ラヌト仰シタルノデアリマスガ

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 村上桂策君ニ說明シマスガ本案ノ制定ニ際シ
マシテ二十六年年度ノ基礎ト致シマシタノハ別ニ理由アルノデアリマセ
ヌ、唯此案ヲ提出スルノ時ニ於キマシテ二十六年年度以後ハ決算ニ掛ラナイノ
デアル依ツテ決算ニ既ニ掛リタル二十六年年度ノ基礎トシタノデアリマス、昨
今ニ於キマシテハ二十七年年度ハ恐ク決算ニ掛ラヌ、ソレガ全ク標準ニ立テ
是ハ唯全ク便宜ノタメニ當時ニ決算ニ掛リタルモノヲ一番正確ナリト認メ
基礎ニシタニ過ギナイ、其以後八年九年ハ未ダ掛ラヌ、ソレガ全ク標準ニ立テ
タル所ノ本デ村上君モ御承知ノ如ク此營業稅ハ其結果トシテ現行ノ地方稅ノ
營業稅ニ引較ベテ百八十四萬圓ノ缺額ヲ生ズル、又雜種稅ニ於テ二十五萬圓
許リノ缺額ヲ生ズル、此法ヲ制定スルト共ニ此缺額ニ向ツテノ補ヒハ如何ト云
フコトヲ考ヘレバ宜シイ、ソレニ附イテ政府ハ一方ハソレノ廢稅シタルモ
ノヲ以テ充テ又加フルニ本法ノ附加稅ノ中ヲ以テ餘剩アリト認ムルコトヲ先
刻ヨリ申シテ居ルノデアリマスガ其以後即チ二十六年年度以後ノ地方稅ノ決
算ヲ經タルモノニ對シテ之ヲ見マシタナラバ多少ノ違ハゴザイマセウケレドモ
併ナガラ別ニドウ云フ程ノ差違ハ起サヌト存シテ居リマス、何トナレバ現
行ノ地方稅規則ノ施行以來地方稅ノ事ニ於テハ差シタル異動ガナイカラデア
リマス、又此事ハ唯本法ヲ起スニ附イテ地方稅ニ對スル所ノ補ヒヲ講スルノ
一點ニアルノミデアリマス、此段御了知ニ相成タイ

○村上桂策君 議長

○議長(侯爵須賀茂昭君) 村上君ハ御質問ニナルノデアリマスガ、ソレナ
ラバ御質問ノ要領ヲ御述ニ相成タイ

○村上桂策君 固ヨリ要領ヲ申シマス、ソコデ政府委員ハ格別理由ガナカッタト云フ御一言ガアリマシタガ理由ガナカッタト云フ一言ニ附イテ最早今後問フノ必要ハナイト思ヒマスカラ質問ハ見合セマス

○安場保和君 本員ハ營業稅法案大體ニ於キマシテハ誠ニ結構ナ法案ト考ヘテ居リマスガ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御意見ヲ御述ニナルナラ演壇へ御出下サイ

○安場保和君 イヤ演壇ニ登ル程ノ事デモゴザイマセヌ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 併ナガラ御意見ヲ御述ニナルナラ演壇へ願ヒマス

(安場保和君演壇ニ登ル)

○安場保和君 本案ハ大體ニ於キマシテハ本員ハ先ヅ同意ヲ表スル方デアリマスガ併ナガラ此本案ニ修正ヲ致ス方法ニ就キマシテハ未ダ可否ヲ確定致シ兼ネマスガ、併ナガラドウモ此法案ト云フモノハ誠ニ容易ナラヌ地方營業ニ取テハ……或ハ此法案ニ依ツテ實行セラレマシタナラ地方ノ實業ハ續々退縮ノ狀ヲ顯ハスモノデアラウト存ゼラレマス、其一例ヲ舉ゲマスレバ全國中ノ先ヅ三府ニ亞グト申ス愛知縣ノ比例ヲ取調ベテ見マスルト營業稅ハ凡ソ是マデ地方議會ニ於テ決定收入シテ居ル所ノ四倍ニ及ビマス、概シテ、會社稅ニ於キマシテハ通計致シテ七倍ニモ及ブ程ノ實際デアリマシテ固ヨリ明治十一年以來ノ地方稅ヲ賦課致シテ未ダ年所ノ經ヌ所デアリマスレバ次第ニ整頓ヲ致スモノ、其中ニハ或ハ精密ヲ缺キ或ハ正當ヲ缺クト云フヤウナ事モアツテ此節ノハ十分ニ其筋ニ於テ取調ベニナリマシタカラ其體裁ニ於テハ能ク周密ニ行キ居イタル稅法カト考ヘマスル、ナレドモ何分其要領ヲ摘シデ申セバ何カ國家ノ必要ノ財源ヲ求ムルメニ非常ニ苛酷煩細ナル稅法ト言ハザルヲ得ヌ、就キマシテハ此國家必要ノ歳入ヲ求ムルガタメニ苛酷煩細ナル營業稅ヲ全國一律ヲ以テスルヤウニ收入ニナリマシタナラバ或ハ其業體ハ萎縮スルト云フノ兆候ヲ現ハスニ相違アルマイカト本員デハ想像シマス、就キマシテハ國家必要ノ財源ヲ求ムルコトハ全國敢テ異議ハアリマスマイガ其寬苛ノ間ニ於キマシテハ大ニ其各業々々ニ就イテノ實際ノ適否ヲ考ヘズシテ目下ノ急ニ依ツテ徵收ヲ致シマシタナレバ國家必要ノ事業ハ舉ガルカハ知リマセヌケレドモ一方ニハ所謂股割イテ口ニ充ルト云フヤウナ大イナル國家凋衰ノ實蹟ヲ顯ハシハシマスマイカト甚ダ將來ノタメニ杞憂ヲ懷クノデ、大體ニ於キマシテハ右様ナ次第デアリマスレバドウゾ此案ハ議院法ノ何條カニ依リマシテ……十分ニ政府ノ調査ノ所モ質問致シ或ハ委員ノ意見モ十分ニ述ベラルハコトデアラウト考ヘマシタ所ガ存外最前委員長カラノ御報告ヲ承ハレバ格別國家百年ノ要用ナル稅源ヲ求ムル上ニ就イテハ本員ノ希望致ス所デ私ニ於テハ未ダ十分盡サヌコトカト考ヘマス、就イテハ本員ノ希望致ス所デハドウゾ是ハ永遠ニ渉ル緊要ナル事柄デアリマスレバ未ダ議會開設以來實施ニハナリマセヌガ繼續委員ニデモ付セラレマシテ十分ニ一兩年ノ間練リニ練ツテ而シテ愈ノ國庫ノ財源ヲ求ムル方ニ於テモ地方經濟ノ方ニ取ツテモ各營業者營業ノ發達ノ上ニ取ツテモ適當ナル法案ヲ起草ニナツテ其十分ニ尙ホ又上下兩院ノ議決ヲ經テ實行ニナルヤウニ致シタイト考ヘマスカラ種々其理由ハアリマスガ最早喋々述ブルマデモナイ、本員ノ希望ハ大體ニ於テハ地方稅

ヲ舉ゲテ國家急要ノ費用ニ充テルガタメニ國庫ノ收入トスル大體ハ聊カ異論ハアリマセヌガ其方法ニ於キマシテハ未ダ地方稅ト國庫支辨トノ區域或ハ各營業者ニ當ツテ適當ナル法案ト此法ガ認メ兼ネマスニ依ツテ願クハ目下ノ急ヲ療センガタメニ百年ノ計ヲ忘ルハヤウナ事ハ誠ニ國家ニ於テ好マヌコトデアリマスカラ唯今申上ゲル通ノ意見ヲ御一同へ申述ベマスカラドウゾ其邊ハ深ク滿場ノ諸君ノ御考案ヲ煩シタウゴザイマス

○武井守正君 少シ御尋フ致シマス、此社債若クハ借入金ハ資本ニ算入シ得ルノデゴザイマスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 武井君ニ御答致シマス社債ハ資本金ニアラズト云フ考デス

○武井守正君 社債モ借入金モ兩方トモデスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 左様

○武井守正君 サウスルト運轉資本ノ如キハ借入ルハト大變稅ヲ免ル、ノデゴザイマスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 免ルハト云フ譯デハゴザイマセヌガサウ云フモノハ商法ニ於テ資本トシテゴザイマセヌ

○根岸武香君 一寸質問致シマスガ此間委員會デ質問シマシタ旅人宿業デゴザイマス、是ハ旅人宿ノ建物賃賃價格ノ中ニ入レルト云フコトデ旅人ノ泊リマスル席ノ賃賃價格ノ中ニ積ルト云フコトデゴザイマスガ土藏杯ト云フモノハ旅人ヲ入レマセヌ以上ハ賃賃價格へ入レマセヌモノデゴザイマセウカ一寸目賀田君ニ……

○政府委員(目賀田種太郎君) 根岸君ニ御答致シマスルガツレハ矢張十八條ノ中デ土藏ノ如キモ矢張營業用ニ關係ガゴザイマスレバ賃賃價格ノ中へ計算致シマス

○根岸武香君 營業用ト申シマスルト旅人ノ荷物ヲ預カルトカ何トカ云フコトモ營業用ノ中ニナリマスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 左様

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今安場君ヨリ繼續委員ノ御説モ出マシタガ別ニ贊成モ無イヤウデゴザイマス、別ニ御發議ガナケレバ第二議會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス本案第二議會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ會計検査院法中改正法律案、政府提出、第一議會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

○子爵鍋島直彬君 是ヨリ本員ハ退席ヲ致シマシテ神奈川縣下郡廢置法律案外七件ノ特別委員會ヲ開キタウゴザイマス定足數ニ差支ゴザイマセヌケレバ御許ヲ願ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 定足數ニ差支ゴザイマセヌニ依ツテ鍋島子爵ノ請求ハ宜シイト存シマス別ニ御異議ナイト思ヒマスカラ宜シウゴザイマス

○安場保和君 本員モ……

○男爵渡邊清君 本員モ……

(此時委員退席ス)

(有賀書記官朗讀)

會計検査院法中改正法律案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治二十九年三月十四日

會計検査院法中改正法律案

明治二十二年法律第十五號會計検査院法第二條中検査官補二十四員ヲ三十二員ニ改ム

(政府委員男爵末松謙澄君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵末松謙澄君) 本案提出ノ理由ヲ簡單ニ述ベマシテ諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス、此改正ノ必要ハ現時會計検査院ニ於キマシテ検査ノ事務ヲ振テ居マスル所ニ於キマシテモ隨分繁雜ヲ極メテ居リマスル所ニ於テ年度ヨリ致シマシテハ豫算ノ増額殆ド六割八分ニモ當ルト云フヤウナル次第デゴザイマシテ速モ從來ノ定員ダケハ之ヲ處理スルコトハ出來マセヌ所以デアリマス、サリナガラ金額ノ増加致シタル度合ダケニ人員ヲ増加致スト云フ請求デハナインノデゴザイマス、併シ會計検査官補、此補ノ中ニ於キマシテ多少ノ増員ヲ致サナクテハナラナイト云フ譯合デゴザイマス、サリナガラ屬官ノ定員ノ方ハ法律テ極テ居マセヌデゴザイマスルカラ是ハ勅令ノ方デ出來マスルケレドモ検査官検査官補杯ノ所ニ至リマシテハ法律ノ中デ極テ居リマスル故ニ此法律ヲ出スコトノ必要ヲ感シマシタノデゴザイマス、即チ其人數ハ二十四人ノ所ヲ増加致シテ三十二人ニ致シタイト云フ趣意デゴザイマス、是ハ事實ニ於テ甚ダ已ム得ナイ事柄デゴザイマスルガ故ニドウゾ案モ至ッテ簡單デゴザイマスカラ諸君ノ潔ク御賛成ニナランコトヲ希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 此特別委員ハ其選舉ハ議長ニ御委託ヲ致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 何名トスルト云フノデスカ

○子爵小笠原壽長君 九名デゴザイマス

○子爵堤功長君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小笠原子爵ヨリ此特別委員ハ議長ニ選定ヲ委託スルト云フ此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス次ニ會計検査官退官ニ關スル法律案政府提出第一讀會ヲ開キマス、是ハ提出文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

會計検査官退官ニ關スル法律案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治二十九年三月十四日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

會計検査官退官ニ關スル法律案

- 第一條 會計検査官身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハ之ニ退官ヲ命スルコトヲ得
- 第二條 退官ハ會計検査官會議ハ決議ニ依リ之ヲ決定ス
- 第三條 會計検査官會議ハ會計検査院長ヲ以テ議長トス院長ニ對スル退官ノ申立アルトキハ會計検査院部長中上席者ヲ以テ議長トス
- 第四條 會計検査官會議ハ現員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ決議ヲ爲スコトヲ得
- 第五條 會計検査院部長及検査官ニ對スル退官申立ハ會計検査院長之ヲ爲シ院長ニ對シテハ部長合議ノ上之ヲ爲ス
- 第六條 會計検査官會議ハ第二條ノ決定ヲ爲スノ前必要ト認ムルトキハ證人及鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得
- 第七條 會計検査官第一條ニ依リ退官ヲ命セラレタルトキハ官吏恩給法ニ於テ同法第二條ニ掲クル事項ニ該リタル者ト同視ス

(政府委員男爵末松謙澄君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵末松謙澄君) 本案ニ就キマシテ簡單ニ提出ノ理由ヲ述ベマスデゴザイマス、而シテ此退官ニ關スル法案ハ次ノ懲戒ニ關スル法案ト多少相關聯致シテ居リマスル故ニ說明致ス所モ多少聯關致スコトヲ免レマセヌカラドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒタウデゴザイマス、御承知ノ如ク會計検査官ハ則チ所謂終身官ト云フコトニ當リマスルノデ其意志ニ反シテ之ヲ免ズルコトハ出來ナイト云フ箇條ガゴザイマスルカラ即チ終身官ニ爲ッテ居リマスルノデゴザイマス、而シテ會計検査院ノ法ノ中ニ於キマシテ懲戒ニ關スルコトハ別ニ定ムル所ニ據ル」ト云フ文句ガゴザイマス、此別ニ定ムルト云フコトハドウ云フ方法ニ致スカト云フコトハ極メテナインノデゴザイマス或ハ法律ヲ以テスル或ハ勅令ヲ以テスルト云フコトハ明文ハ見エマセヌデゴザイマス、サリナガラ既ニ會計検査院ノ全體ノ法律ガ既ニ法律ト爲ッテ居リマスル以上ハ此懲戒法モ矢張法律デ以テ制定致シタル方ガ然ルベキ事デアラウト思フ、鄭重ヲ盡スコトニ當リデアラウト云フ見込ヲ以テ政府ハ法律案ト致シタ譯デゴザイマス、而シテ此懲戒法ヲ提出致シマスル以上ハ退官ノ事モ出サナクテハナリマセヌデゴザイマス、是ハ退官ノ方ハ懲戒トハ少シ性質ガ違ヒマスケレドモ矢張其必要ガアリマスルノデゴザイマス、即チ司法官ノ方ニ於キマシテモ矢張斯ウ云フヤウニ區別ガ附イテ居リマスルノデゴザイマス、判事ノ懲戒法ト云フモノガ出來テ居リマスル又裁判所構成法ノ中ニ於キマシテモ老朽職ニ堪ヘザル者ノ處分法ハ別ニ此會議ニ依ッテ決スルト云フ法條ガ有リマスルノデゴザイマス、今度出シマシタル所ノ検査院ノ方ノ懲戒法並ニ退官規則ト云フコトハ全ク裁判官ノ矢張大審院邊リノ制度ヲ其儘コチラニ移シタト云フヤウナ譯、勿論名前杯ハ片一方ハ退職片一方ハ退官ト云フ位違ヒマスケレドモ此精神ハ殆ド同シコトデアリマス右ニ依リマシテ法案ヲ提出致シマシ

タガ各箇條ノ事柄ニ至リマシテモ唯今申シタ通ニ裁判官ノ方ト文字ニ些少ノ違ヒ位アルノミデ精神ニ於テ少シモ違ヒマセヌノデゴザイマス又此法案モ今マデハ無クテ済ミマシタヤウナコトデゴザイマスルケレドモ既ニ疾ニ定メテアルモノデアリマスシテ検査院ノ検査官ノ責任モ餘程重クナルニ附キマシテハ成ルベク速ニ懲戒並ニ退官ノ方法モ極メテ置キマセバ若シモ必要ノ生シタ場合ニ至リマシテ間ニ合ヒマセヌ、ソレ故ニ今回此ノ如ク二ツノ案ト爲リマシテ提出致シマシタ譯デゴザイマス、目下甚ダ必要デゴザイマス、實ハ検査院長ノ側カラモ此事ニ於キマシテモ内閣ニ申出モアツタヤウナ次第デゴザイマス、是モ前條ノ通、速ニ御議決ナルヤウニ希望致シマス

○名村泰藏君 一寸政府委員へ質問致シマス、今ノ御説明ニ依ッテ能ク分リマシタ、構成法カラ御採リニナツタモノデアラウト思ヒマスガ此第八條ニ「證人及鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得」ト云フ、今ノ此案ノ第六條デアリマス、先ヅ第一ニ此證人及鑑定人ト云フモノハドンナ者デアリマスカ、其種類ヲ一寸御示ヲ願ヒマス、ソレカラ此検査官ノ會議ト云フモノハ即チ大審院或ハ控訴院デ致シマスル總會ト同様ナモノデアラウト考ヘマス、其所ニ證人鑑定人ヲ喚ブト云フコトハ如何ナモノデアラウト考ヘマス、其所ニ證人鑑定人ヲ喚ブニハ如何ナ手續デ御喚ビニナリマスカ、或ハ刑事訴訟法ノ手續ニ依ルモノデアアルカ如何デゴザイマスカ一寸ソレダケ……

○政府委員(男爵末松謙澄君) 此検査院ノ會議ト申シマスハ検査院ニアリマス検査官ダケヲ以テ組織スル方ノ會議デアリマシテ總會トハ少シク違ッテ居リマスノデアリマス、總會ノ方ニハ検査官補ヲ加ヘルヤウナコトモアリマス、其所謂検査官ト云フモノダケデ院長、部長、並ニ検査官十二人ヲ置クトアリマス、是デアリマス、ソレカラ必要ニ應ジテ證人及鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得トゴザイマスコトハ是ハマア大概ノ事ハ無クテモ濟メバヤウナニ相違アリマセヌガ、サリナガラ極ク必要ノアリマスル事ハ或ハ此第一條ニアリマスガ如ク身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハザルコトデアリマスカラ、或ハ醫者ノ鑑定ヲ取ラナクチャナラヌヤウナル場合モアリマシヤウシ、或ハ精神病ノ如キニ至ッテハドウモ餘程妙ナ事ヲスル、ドウシテモ本氣ノ沙汰デナイト云フヤウナルコトヤラ何ヤラニ就キマシテ證人タルヤウナル者或ハ訊問シナクテハナラナイヤウナル事モアリマセウ、極ク必要ノ場合ニ於テハ已ムヲ得ナイ事デアラウト思ヒマス、其詳シイ手續ノ如キハ直ニ此處デ一言フコトノ必要ヲ認メマセヌ

○名村泰藏君 少シドウゾ……ソレデハ今ノ證人トカ醫者トカ鑑定人デアルト云フヤウナ、若クハ常ニ側ニ附イテ居ッテ精神病ノ事ヲ知ッテ居ル者ヲ喚ビマシテ調ベルト云フコトデゴザイマスガ此證人等ハ如何ナル手續ヲ以テ喚ビマスルカ、其手續ヲ承知シタイ、證人及鑑定人ヲ喚ブト云フコトハ或ハ刑事訴訟法ノ手續ニ依ルトカ何トカシナケレバ今日ノ所デハ喚ビ惡イ譯ニナツテ居ル、其邊ハドウ云フ手續ニナリマスルカ、其邊ヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(男爵末松謙澄君) 此案ハ詰リ大體ノ事ヲ極メマスノデアリマシテ今日カラソレ等ノ細密ナ事マデモ極メテ若シモ鑑定人ガ嘘ヲ言ッタナラバソレドウ處分スルカト云フヤウナル事ハ此法律デ極メマセヌデモソレハ又若シモ鑑定者ガ上ヲ欺イタトカ何トカ云フコトデアリマスルト自ラ其法モ有

リマセウ、サウ云フ事マデモ今決シテ置クト云フ必要ハ認メマセヌ

○名村泰藏君 マーッ序ニ御尋シマス、ソレナラバ證人ヲ喚ビ或ハ鑑定人ヲ喚ブノニ日當或ハ旅費ヲ遣ラナクチャナリマセヌ、其日當旅費ハ御遣リニナル積デゴザイマスカ又ハ御遣リニナラヌ積デアリマスカ、其邊ノ事ハ實ハ豫メ御目的ガ立タナケレバイカナイカト思ヒマス、細密ナ事ハ後トデ宜イ杯ト云フコトハチツト本員杯ニハ分ラヌ御話ト思ヒマス

○政府委員(男爵末松謙澄君) 證人及鑑定人ヲ喚ブ時ニハ旅費日當ハドウスルカト云フヤウナコトガアリマシタガ是モ此法律デ極メル程ノコトハ要シナイ事デアリマス、必要ノアル時ニ之ヲ訊問スルコトヲ得ルト云フコトダケヲ極メテ置イテ實際數百里ノ外カラ證人ヲ喚ブト云フヤウナル事モ殆ド有リマス、又久シク其タメニ滞在シテ置クト云フ程ノ事モゴザイマス、ケレドモ若シ完全ナコトヲ云ヒマスレバ其規定モ一々設ケ並ニ豫算モ當時ニ提出致シタナラ宜シウゴザイマセウガマア人事ト云フモノハソレ程先キカラ先キマデ念ヲ押シマセヌデモ果シテ旅費日當ガ要ルヤウナ場合ガ生シマスレバ其場合ニ當リマシテ或ハ特ニ支出シテ事後承諾ヲ求メデモ宜シウゴザイマセウカト思ヒマス、ソレ程ノ事ハ要ラヌカト思ヒマス

○名村泰藏君 少シ私ハ御辯明ガ分リマセヌ、證人トカ鑑定人トカ云フコトヲ法律ニ掲グル其時ニハ先ヅ證人ヲ喚ビ方ハドノ手續ニ依ル、鑑定人ハドウスル、鑑定人ヲ喚ベバ遠方カラ必ズ來ル者バカリデハアリマセヌ、ソレハ固ヨリ……然ルニ東京ニ居リマス者デモ喚ンデ一日暇ヲ潰セバ一日ノ暇ヲ潰スタメニソレダケノ費用ト云フモノヲ與ヘナクチャナラヌコト、思ヒマス、然ルニ若シモ後日デ宜イ、其事ガ起ッたらバ其時ニ立テルト云フ、一體法律ヲ御立テニナルナラバ其時ニソレダケノ御方針モ立チ又其法律ト云フモノハ別ニ立テル或ハ手續ハ斯ウスルトカ云フコトデ豫メ其邊ノ御定メガ無クチャナラヌコト、思ヒマスガ、ソレハ必要ノ起ッタ時ニ指ヘルト云フ御辯明ハ少シモ分リマセヌ

○政府委員(男爵末松謙澄君) 名村君ニ御答致シマスガソレデゴザイマスレバ此處デ此次ノ日程ニ依ッテ委員ヲ選バレルコトデゴザイマスカラ其時分ニ當ッテ是デハ不足ノヤウダカラ調査セヨ又證人ヲ喚ビ出スナラバ何ミヲ適用スルコトヲ入レヨト言フテ修正デモ御持出シ下スッたらバソレデ濟ムコトカト考ヘマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 他ニ御發言ガゴザリマセヌバ本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 此案ハ前案ト同一ノ委員ニ付託スルト云フ動議ヲ提出致シマス

○山田卓介君 贊成

○議長(侯爵須賀茂昭君) 小笠原子爵ヨリ前案ト同一ノ委員ニ付託スルト云フ此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂昭君) 多數デゴザイマス、次ニ會計検査官懲戒法案、政府提出、第一讀會ヲ開キマス、提出文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)
會計検査官懲戒法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治二十九年三月十四日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

會計検査官懲戒法案

會計検査官懲戒法案

第一章 總則

第一條 會計検査官ヲ懲戒スルハ左ノ場合ニ於テ懲戒裁判委員會ノ裁判ヲ以テスヘシ

第一 職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ

第二 官職上ノ威嚴又ハ信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

第二章 懲罰

第二條 懲罰ハ左ノ如シ

第一 誹責

第二 減俸

第三 停職

第四 免官

第三條 懲戒裁判委員會ハ所犯ノ輕重ニ從ヒ前條懲罰ノ適用ヲ定ムヘシ

懲戒裁判委員會ハ懲罰ノ適用ヲ定ムルニ當リ平生ノ行狀ヲ斟酌スルコトヲ得

第四條 減俸ハ一月以上一年以下年俸月割額ノ三分ノ一以內ヲ減ス

第五條 停職ハ三月以上一年以下職務ノ執行ヲ停止ス

停職中ハ俸給ヲ給セズ

第三章 懲戒裁判委員

第六條 懲戒裁判委員會ハ會計検査官ヲ以テ之ヲ組織ス

第七條 懲戒裁判委員會ハ裁判ハ終審トス

第八條 懲戒裁判委員長ハ會計検査院長ヲ以テ之ニ充ツ會計検査院長被告タルトキハ會計検査院長中上席者ヲ以テ之ニ充ツ

懲戒裁判委員長ハ委員會ニ首席シ及庶務ヲ統理ス

第九條 懲戒裁判委員長事故アルトキハ會計検査院長中上席者之ヲ代理ス

懲戒裁判委員會ハ委員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス

懲戒裁判委員會ハ決議ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル所ニ依ル

第四章 懲戒裁判手續

第十條 懲戒裁判委員會ハ會計検査院長又ハ被告勤務ノ部ヲ主管スル會計検査部長ノ申立ニ依リ院長被告タルトキハ會計検査部長一名以上ノ申立ニ依リ懲戒裁判ヲ開始スルヤ否ヲ決定ス

第十一條 開始決定ニハ懲戒スヘキ所爲及證據ヲ開示スヘシ

第十二條 開始決定ハ被告ニ送達スヘシ

第十三條 懲戒裁判委員長ハ一名若クハ二名ノ委員ニ專理委員ヲ命シ該懲戒ニ關スル一切ノ取調ヲ爲サシムヘシ

第十四條 專理委員ハ被告ヲ呼出シテ陳述セシメ及必要ノ場合ニ於テハ證人ヲ召喚シテ取調スルコトヲ得

被告ハ代理人ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第十五條 專理委員ハ取調終了ノ後其ノ調書一切ノ證據及懲罰案ヲ懲戒裁判委員長ニ差出スヘシ

第十六條 懲戒裁判委員會ハ前條ノ書類ニ依リ評議判決スヘシ

懲戒裁判委員會ニ於テ被告ヲシテ陳述セシメ又ハ證人ヲ取調スルコトヲ必要トスルトキハ第十四條ノ例ニ依ル

判決書ハ之ヲ被告ニ送達スヘシ

第十七條 懲戒裁判委員會ニ於テ減俸停職又ハ免官ノ判決ヲ爲シタルトキハ委員長ハ判決書ノ謄本ヲ會計検査院長ニ差出スヘシ其ノ院長ニ係ル場合ニ於テハ之ヲ内閣總理大臣ニ差出スヘシ

判決ハ執行會計検査院長ニ係ルモノハ内閣總理大臣ニ於テ其ノ他ニ係ルモノハ會計検査院長ニ於テ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條 職務停止及懲戒裁判手續ト刑事裁判手續トノ關係ハ明治二十三年法律第六十八號判事懲戒法第五章第六條ノ規程ニ準據スヘシ

第十九條 懲戒法案ノ第六條ニ「懲戒裁判委員會ハ會計検査官ヲ以テ之ヲ組織ス」ト斯ウアリマス、此委員ハ何人ヲ以テ組織サレマスノデアリマスカ、一寸其數ヲ御示ヲ願ヒタイ

(政府委員男爵末松謙澄君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵末松謙澄君) コリヤ、即チ検査官ト名ケル者ノ總體ノ積デアリマス、其人員ハ會計検査院法ノ第二條ニ「會計検査院ハ院長一員、部長三員、検査官十二員ヲ置キ之ヲ會計検査官トシ」トアリマスカラ、アレヲ以テヤツテ往ク積デアリマス

○名村泰藏君 ツレダヤ殘ラズ検査官ト云フモノハ懲罰委員ニ爲ルノデスカ

○政府委員(男爵末松謙澄君) 検査官ノ會議ニ就イテ……

○名村泰藏君 總人員十人有レバ十人が懲罰委員ニ爲ルノデスカ

○政府委員(男爵末松謙澄君) サウデス

○名村泰藏君 此第十四條ニ一寸今御尋シマシタ通ノ證人ノ事ガアリマス、是モドンナ事ニナリマスカ、喚出シ方ヲ承ツテ置キタウゴザイマス

○政府委員(男爵末松謙澄君) 前案同様ノ通デゴザイマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 此案モ前二條ト同一ノ委員ニ付託致シタウゴザイマス

○山田卓介君 贊成

○議長(侯爵須賀茂昭君) 小笠原子爵ヨリ前二案ト同一委員ニ此案ヲ付託致シタイト云フ此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

(起立)

起立者 多數
議長(侯爵須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ河川法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

〔有賀書記官朗讀〕

河川法案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年三月十四日 衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵須賀茂韶殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス〕

河川法

第一章 總則

第二章 河川ノ管理

第三章 河川ノ使用ニ關スル制限並ニ警察

第四章 河川ニ關スル費用ノ負擔、土地所有者ノ權利義務並ニ河川ノ管理ヨリ生スル收入等

第五章 監督及強制手續

第六章 爭議、訴願及訴訟

第七章 附則

河川法

第一章 總則

第一條 此ノ法律ニ於テ河川ト稱スルハ主務大臣ニ於テ公共ノ利害ニ重大ノ關係アリト認定シタル河川ヲ謂フ

第二條 河川ノ區域ハ地方行政廳ノ認定スル所ニ依ル

流水河川ノ區域外ニ出テテ永期ニ渉ルヘキモノト認ムルトキハ地方行政廳ハ其ノ河川ノ區域ヲ變更スヘシ

第三條 河川並ニ其ノ敷地若クハ流水ハ私權ノ目的トナルコトヲ得ス

第四條 地方行政廳ニ於テ河川ノ支川若クハ派川ト認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ

堤防、護岸、水制、河津、曳船道其ノ他流水ニ因リテ生スル公利ヲ増進シ又ハ公害ヲ除却若クハ輕減スル爲ニ設ケタルモノニシテ地方行政廳ニ於テ河川ノ附屬物ト認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ

第五條 此ノ法律ニ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ流入シ若クハ河川ヨリ分岐スル水流若クハ水面又ハ第一條ノ認定ヲ受ケサル河川ニ準用スルコトヲ得

第二章 河川ノ管理

第六條 河川ハ地方行政廳ニ於テ其ノ管内ニ係ル部分ヲ管理スヘシ但他府縣ノ利益ヲ保全スル爲メ必要ト認ムルトキハ主務大臣ニ於テ代テ之ヲ管理シ又ハ其ノ維持修繕ヲナスコトヲ得

第七條 地方行政廳ハ河川ニ關スル工事ヲ施行シ其ノ維持ヲナスノ義務アリ

ルモノトス但第四十三條ニ依リ通航料徴收ノ許可ヲ得タル者ヲシテ其ノ義務ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ妨ケス

第八條 河川ニ關スル工事ニシテ利害ノ關係スル所一府縣ノ區域ニ止マラサルトキ又ハ其ノ工事至難ナルトキ若クハ其ノ工費至大ナルトキ又ハ河川ノ全部若クハ一部ニ付キ大體ニ渉ル一定ノ計畫ニ基キテ施行スル改良工事ナルトキハ主務大臣ハ自ラ其ノ工事ヲ施行シ又ハ其ノ工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ之ヲ施行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ地方行政廳ノ有スル職權ヲ直接施行スルコトヲ得

第九條 地方行政廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ管内ノ下級行政廳ヲシテ河川ニ關スル工事ノ一部ヲ施行セシメ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

第十條 河川ノ附屬物ニシテ兼ネテ他ノ工作物ノ效用ヲナスモノアルトキハ地方行政廳ハ其ノ工作物ノ管理者ヲシテ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

他ノ工作物ニシテ兼ネテ河川ノ附屬物ノ效用ヲナスモノアルトキハ地方行政廳ニ於テ其ノ工作物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナスコトヲ得

第十一條 他ノ工事ニ因リ河川ニ關スル工事ノ必要ヲ生シタルトキハ地方行政廳ハ其ノ工事ノ施行者ヲシテ河川ニ關スル工事ヲ施行セシムルコトヲ得

河川ニ關スル工事ニ因リ必要ヲ生シタル他ノ工事又ハ河川ニ關スル工事ヲ施行スル爲ニ必要ナル他ノ工事ハ地方行政廳ニ於テ併セテ之ヲ施行スルコトヲ得

第十二條 行政廳ハ河川ニ關スル工事ノ請負ヲナスコトヲ得ス

第十三條 河川ニ關スル工事ノ請負ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 地方行政廳ハ其ノ管理ニ屬スル河川ノ臺帳ヲ調製シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

臺帳ノ調製、保管、記載事項等ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

主務大臣ノ認可ヲ經タル臺帳ニ記載セル事項ニ關シテハ反對ノ立證ヲ許サス但臺帳調製後其ノ事實ノ變更シタルコトヲ證スルヲ妨ケス

第十五條 地方行政廳ニ於テ河川管理ノ爲メ特ニ吏員ヲ置クコトヲ要スルトキハ其ノ定員、給料、手當、職務權限並ニ其ノ費用ノ負擔者等ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三章 河川ノ使用ニ關スル制限並ニ警察

第十六條 舟筏ノ通航及流水ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 左ニ記載スル工作物ヲ新築、改築若クハ除却セントスル者ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

一 流水ヲ停滯セシメ若クハ引用シ又ハ流水ノ害ヲ豫防スル爲ニ施設スル工作物

二 河川ニ注水スル爲ニ施設スル工作物

三 河川ノ區域内ニ於テ敷地ニ固著シテ施設スル工作物又ハ河川ニ沿

第十八條 河川ノ敷地若クハ流水ヲ占有セントスル者ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十九條 流水ノ方向、清潔、分量、幅員若クハ深淺又ハ敷地ノ現狀等ニ影響ヲ及ボスノ虞アル工事、營業其ノ他ノ行為ハ命令ヲ以テ之ヲ禁止若クハ制限シ又ハ地方行政廳ノ許可ヲ受ケシムルコトヲ得

第二十條 左ノ場合ニ於テ地方行政廳ハ許可ヲ取消シ若クハ其ノ效力ヲ停止シ若クハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ既ニ施設シタル工作物ヲ改築若クハ除却セシメ又ハ原形ノ回復ヲ命シ又ハ許可セラレタル事項ニ因リテ生スル危害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナサシムルコトヲ得

一 工事施行ノ方法若クハ施行後ニ於ケル管理ノ方法公安ヲ害スルノ虞アルトキ

二 河川ノ狀況ノ變更其ノ他許可ノ後ニ起リタル事實ニ因リ必要ヲ生スルトキ

三 河川ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ許可ヲ與ヘタルモノノ外ニ工事、使用若クハ占用ヲ許可スル爲ニ必要ナルトキ

四 此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規程ニ依リ必要ヲ生スルトキ

五 法律命令ニ違背シタルトキ

六 公益ノ爲メ必要アルトキ

第二十一條 本章ノ規程ニ依リ與ヘタル許可ニ依リテ生スル權利義務ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クルニアラサレハ之ヲ他人ニ移スコトヲ得ス

第二十二條 法律、命令若クハ許可ノ條件ニ違背シタル者ハ行政廳ノ命スル所ニ從ヒ其ノ違背ニ因リテ生シタル事實ヲ更正シ且其ノ因リテ生スル損害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナスヘシ

第二十三條 洪水ノ危險切迫ナルトキハ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ現場ニ於テ直ニ防禦ノ爲ニ必要ナル土地ヲ使用シ土砂、竹木其ノ他ノ材料、車馬其ノ他ノ運搬具及器具等ヲ使用若クハ徵收シ又ハ其ノ現場ニ在ル者ヲ使役シ又ハ家屋其ノ他ノ障害物ヲ破壊スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ管内ニ於テ夫役ヲ命シ又ハ下級公共團體ニ命シテ土地、材料、運搬具、器具及夫役ヲ供セシメ又ハ市町村長其ノ他ノ市町村吏員等ヲ指揮シテ必要ナル處分ヲナサシムルコトヲ得

地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ニ命シテ洪水防禦ノ爲メ必要ナル準備ヲナサシムルコトヲ得

第四章 河川ニ關スル費用ノ負擔、土地所有者ノ權利義務並ニ河川ノ管理ヨリ生スル收入等

第二十四條 河川ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス
主務大臣ニ於テ第六條但書ニ依リ河川ノ管理若クハ其ノ維持修繕ヲナス場合ニ於テハ國庫ニ於テ其ノ費用ノ全部若クハ一部ヲ負擔スルコトヲ得

第二十五條 通航料徵收ノ許可ヲ受ケテ施設シタル工作物ノ爲ニ要スル費用ハ其ノ徵收期間許可ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第二十六條 河川ノ改良工事ニ要スル豫算費用ニシテ其ノ府縣内ノ地租額十分ノ一ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ノ三分ノ二以內ヲ國庫ヨリ補助スルコトヲ得但地租額ヲ超過スル部分ニ付テハ其ノ超過額ノ四分ノ三以內ヲ補助スルコトヲ得

災害ニ因リ必要ヲ生シタル工事ニ要スル費用ハ前項ニ依ルノ限ニアラス

工事費用精算ノ上豫算ヨリ減スルコトアルモ既ニ與ヘタル補助金ハ之ヲ還付セシメサルコトヲ得

第二十七條 第八條ニ依リ主務大臣ニ於テ工事ヲ施行スル場合ニ於テハ府縣ハ前條ノ規程ニ準シテ其ノ豫算費用ヲ負擔シ國庫ハ其ノ殘額ヲ負擔スヘシ

前項ノ場合ニ於テ府縣ノ負擔スヘキ金額並ニ不足額ノ補充及殘餘金ノ處分等ハ主務大臣ニ決定ム

第二十八條 第八條ニ依リ主務大臣ニ於テ工事ヲ施行スル場合ニ於テハ府縣ハ其ノ負擔スヘキ豫算金額ヲ國庫ニ納付スヘシ

第二十九條 地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ヲシテ河川ニ關スル費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十條 河川ノ附屬物ニシテ兼ネテ他ノ工作物ノ效用ヲナスモノアルトキハ其ノ工作物ノ管理者タル行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體若クハ管理者タル私人ヲシテ其ノ附屬物ニ關スル費用ノ全部若クハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十一條 營業ノ結果ニ因リテ河川ニ關スル工事ノ必要ヲ生セシムルモノアルトキハ其ノ營業者ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十二條 河川ニ關スル工事ニシテ他ノ工事ニ因リ必要ヲ生シタルモノナルトキハ其ノ費用ハ工事ノ必要ヲ生シタル程度ニ於テ其ノ原因タル工事ノ費用負擔者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

河川ニ關スル工事ニ因リテ必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ハ其ノ工事ノ管理者タル行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體若クハ管理者タル私人ノ負擔トス但命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ關スル費用ノ内ヨリ其ノ費用ノ全部若クハ一部ヲ補助スルコトヲ妨ケス

第三十三條 河川ニ關スル工事ニシテ他ノ府縣若クハ他府縣内ノ公共團體ニ於テ著シク利益ヲ受クルモノナルトキ又ハ河川ニ關スル工事若クハ其ノ維持ニシテ主トシテ他府縣内ノ住民ノ河川ノ使用ニ因リ必要ヲ生スルモノナルトキハ其ノ府縣若クハ其ノ府縣内ノ公共團體ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十四條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ノ命シタル事項ヲ遵守スル爲ニ要スル費用ハ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外其ノ命ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第五十二條 依リ主務大臣若クハ地方長官ニ於テ義務者ノ履行スヘキ事項ヲ自ラ執行シ若クハ第三者ヲシテ執行セシメタルカ爲ニ要シタル費用ハ其ノ義務者ヨリ之ヲ追徵スルコトヲ得

第三十五條 公共團體ハ河川ニ關スル工事若クハ費用ノ爲メ寄付ヲナスコ

ト得

第三十六條 公共團體ハ河川ニ關スル費用ニ付キ私人若クハ其ノ區域内ノ

下級公共團體ニ補助ヲナスコトヲ得

第三十七條 公共團體ハ河川ニ關スル費用ニ付キ利害關係ノ厚薄ヲ標準ト

シテ其ノ區域内ニ於テ不均一ノ賦課ヲナスコトヲ得

第三十八條 河川ニ關スル工事ノ爲メ必要ナルトキハ地方行政廳ハ管内ノ

土地若クハ森林ノ所有者ニ命シ補償金トシテ時價相當ノ金額ヲ下付シテ

其ノ所有ニ係ル土石、砂礫、芝草、竹木及運搬具ヲ供給セシムルコトヲ

得但時價ニ關シテ協議整ハサルトキ又ハ所有者不明ナルトキ若クハ其ノ

所在不明ナルトキハ地方行政廳ハ相當ト認ムル金額ヲ供託シテ本條ノ供

給ヲサシムルコトヲ得

第三十九條 河川ニ關スル工事ノ爲メ必要ナルトキハ地方行政廳ハ其ノ堤

外地ニ立チ入り又ハ其ノ土地ヲ材料置場等ニ供シ又ハ已ムヲ得サルトキ

ハ其ノ土地ニ現在スル建築物其ノ他ノ障害物ヲ除却スルコトヲ得

堤外地ニアラサル沿岸若クハ沿堤土地ニ關シテハ其ノ地先ニ施行スヘキ

工事ノ爲メ必要ナル場合ニ限リ前項ヲ適用スルコトヲ得

前二項ノ適用ニ依リ損害ヲ受ケタル所有者ハ使用若クハ除却ノ後三箇月

以內ニ府縣ニ對シ補償金ヲ請求スルコトヲ得

第四十條 第二十三條第一項ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アル

トキハ地方行政廳ハ其ノ管内ノ市町村、町村組合若クハ水利組合ニ命シ

テ其ノ物件ノ價額ヲ補償セシムルコトヲ得其ノ價額ハ行政廳之ヲ定ム

前項補償ノ手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條 法律、命令若クハ許可認可ノ條件ニ違背シタル工事、設備、使

用、占用若クハ工作物ノ管理ニ因リ損害ヲ受ケシメタル者ハ其ノ損害ヲ

賠償スヘシ

前項ニ依リ行政廳ニ於テ下付スヘキ賠償金ハ其ノ行政廳ノ直接ニ管轄ス

ル公共團體ノ負擔トス

第四十二條 流水ヲ停滯シ若クハ引用スル爲メノ工作物ノ施設其ノ他流水若

クハ敷地ノ使用若クハ占用ヲ許可スルトキハ其ノ管理者、使用者若クハ

占用者ヨリ使用料若クハ占用料ヲ徵收スルコトヲ得

本條ノ使用料若クハ占用料其ノ他河川ヨリ生スル收入ハ府縣ニ歸ス

第四十三條 地方行政廳ハ私人若クハ其ノ管内下級公共團體ニ於テ舟筏ノ

便ヲ謀ル爲メ新築若クハ改築工事ヲ施行スル場合ニ限リ舟筏ヨリ通航料

ヲ徵收スルコトヲ許可スルコトヲ得但其ノ年限ハ當初許可シタル時ヨリ

三十箇年ヲ超過スルコトヲ得ス

通航料ノ徵收ヲ停止スヘキ場合ニ於ケル補償其ノ他通航料ノ制限等ニ關

スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十四條 河川敷地ノ公用ヲ廢シタルトキハ地方行政廳ハ命令ノ定ムル

所ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ但此ノ法律施行前私人ノ所有權ヲ認メタル證據

アルトキハ其ノ私人ニ下付スヘシ

第四十五條 河川附近ノ土地若クハ工作物ノ所有者ハ命令ノ規程ニ依リ行

ハ其ノ工作物ノ河川ニ及ホス損害ヲ豫防スル爲メ必要ナル設備ノ全部若

クハ一部ヲナシ又ハ其ノ費用ノ全部若クハ一部ヲ負擔スルノ義務ヲ有ス

第四十六條 河川ニ土砂ヲ流出スルノ虞アル土地ノ所有者ハ行政廳ニ於テ

其ノ土地ニ竹木芝草ヲ植附ケ若クハ培養シ又ハ其ノ他土砂扞止ノ設備ヲ

ナシ若クハ之ヲ維持スルコトヲ拒ムコトヲ得ス

前項ニ依リ植附タル竹木芝草ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ土地所有者ヲ

シテ收益ノ全部若クハ一部ヲ取得シテ之ヲ培養スルノ義務ヲ負ハシムル

コトヲ得

土砂扞止ノ爲メ必要ナル土地ハ行政廳ニ於テ土地收用法ニ依リ之ヲ收用ス

ルコトヲ得

第四十七條 此ノ法律ヲ以テ定メタルモノノ外河川附近ノ土地、家屋若

クハ其ノ他ノ工作物ニ關シ河川ノ公利ヲ増進シ又ハ公害ヲ除却若クハ輕

減スル爲メ必要ナル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十八條 河川若クハ河川附近ノ土地ニ關シテ規定シタル事項ハ命令ノ

定ムル所ニ從ヒ河川ニ關スル工事ニ因リ新ニ河川トナルヘキ區域若クハ

其ノ附近ノ土地ニ之ヲ準用スルコトヲ得

第五章 監督及強制手續

第四十九條 主務大臣ハ河川ニ關スル行政ヲ監督ス

地方長官ヲシテ第一次ニ於テ監督セシムヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

此ノ法律ニ規定シタル事項ニシテ主務大臣若クハ地方長官ノ認可ヲ要ス

ルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條及第三十六條ニ規定シタル事項竝ニ此ノ法律ニ依リ行政廳ニ

付與シタル職權ニ關シテハ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第五十條 他ノ府縣若クハ他ノ府縣内ノ公共團體ヲシテ費用ヲ負擔セシ

ムル爲メ必要ナル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 主務大臣ハ地方行政廳ニ命シテ河川ニ關スル工事ヲ施行セシ

メ又ハ河川ノ區域及其ノ附屬物ノ認定若クハ臺帳ノ更正ヲナサシメ其ノ

他此ノ法律ニ規定シタル地方行政廳ノ職權ヲ施行セシムルコトヲ得

第五十二條 義務者ニ於テ此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ

依リ義務ヲ履行セス若クハ之ヲ履行スルモ必要ノ期限内ニ終了スルノ見

込ナキトキ又ハ其ノ履行ノ方法宜ヲ得サルトキハ主務大臣若クハ地方長

官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第五十三條 私人ニ於テ此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依

リ義務ヲ怠ルトキハ主務大臣若クハ地方長官ハ一定ノ期限ヲ示シ若シ期

限内ニ履行セサルトキ若クハ之ヲ履行スルモ不充分ナルトキハ千圓以內

ニ於テ指定シタル過料ニ處スルコトヲ豫告シテ其ノ履行ヲ命スルコトヲ

得

第五十四條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事

項ニ關シ納付セシメタル保證金ハ行政廳ニ於テ直ニ其ノ納付ノ目的又ハ

過料ニ充用スルコトヲ得

第五十五條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ私人ニ於テ負擔スヘキ費用及過料ハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外行政廳ニ於テ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用及過料ニ付キ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有スルモノトス
此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ公共團體ニ於テ負擔スヘキ費用ニ關シテハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外主務大臣若クハ地方長官ハ必要ナル場合ニ於テハ金額ヲ定メテ之ヲ其ノ豫算表ニ掲ケ其ノ他必要ナル處分ヲ指揮シ直ニ其ノ金額ヲ支出セシムルコトヲ得

第五十六條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ハ行政處分ニ依リ之ヲ強制スルコトヲ得
行政廳ノ許可若クハ認可ニ附シタル條件ニ關シテモ亦本條及前條ヲ準用ス

第五十七條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ於テ規定シタル事項ニ關シテハ河川視察ノ職務ヲ有スル官吏ヲシテ命令ノ定ムル所ニ從ヒ警察官ノ職權ノ全部若クハ一部ヲ執行セシムルコトヲ得
第五十八條 此ノ法律ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第六章 爭議、訴願及訴訟

第五十九條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテ爭議ヲ生スルトキハ主務大臣ニ於テ之ヲ決定ス其ノ決定ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ主務大臣若クハ地方行政廳ノ長官ニ於テ不服アル私人若クハ公共團體ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得
此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令若クハ地方行政廳ノ委任ニ依リ下級行政廳ノ長官ニ於テ不服アル私人若クハ公共團體ハ地方長官ニ訴願シ地方長官ノ裁決ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ依リ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得
第六十一條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ行政廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスル私人若クハ公共團體ハ前條ニ依リ訴願ノ裁決ヲ經タル後行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得但地方行政廳ノ處分ニ對シテハ直ニ之ヲ提起スルコトヲ得

主務大臣ノ處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第六十二條 第四十一條第一項ニ依リ損害賠償ヲ請求スル私人若クハ公共團體ハ損害ヲ受ケタル日より三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得法律、命令若クハ許可認可ノ條件ニ違背シタルヤ否ヤニ付キ爭アルトキハ前數條ノ手續ニ依リ其ノ違背シタルトノ事實確定シタル後ニアラサレハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得但此ノ場合ニ於テハ前項ノ期間ハ確定ノ日より起算スルモノトス

第六十三條 第三十八條若クハ第三十九條ニ依リ下付スヘキ補償金額ニ對シ不服アルトキハ行政廳ニ於テ補償金額ノ通知ヲナシタル日より六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得但第三十九條ノ場合ニ於テ補償金額ノ求メ後三箇月以内ニ其ノ金額ノ通知ヲキトキハ其ノ期限經過後六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十四條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテハ本章ノ規程ニ依リ特ニ許シタル場合ヲ除クノ外訴願若クハ行政訴訟ヲ提起シ又ハ行政廳ニ對シ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第七章 附則

第六十五條 此ノ法律ノ全部若クハ一部ヲ施行スヘキ區域及時期ハ主務大臣ニ之ヲ定ム
第六十六條 河川ノ臺帳ハ此ノ法律施行ノ日より二箇年以内ニ之ヲ調製ス

第六十七條 災害土木費負擔ニ關スル慣例及外國人居留地内ニ於ケル河川ニ關スル慣例ハ此ノ法律ヲ以テ變更スルノ限ニアラス
(國務大臣芳川顯正君演壇ニ登ル)

○國務大臣(芳川顯正君) 諸君、現今河川ニ關シテ行ハレテ居リマス規定ハ地方區々ニナツテ居リマスノデアリマス、此區々ニナツテ居リマスノハ多クハ皆舊慣ヨリ參リマシタルデアアル、而シテ此舊慣ハ何レノ時カラ參リマシタルカト顧ミマスルト藩制時代ヨリ皆參リマシタルデアアル、藩制時代ノ此舊慣ニ依リマスルト大藩トナク、小藩トナク、皆區々ニナツテ居リス、又河川ヲ管理スルノ仕方竝ニ工事ノ施行經費負擔等ニ至リテモ區々一定シテ居リマセス、或處ニ依リマシテハ地先町村ノ皆負擔ニナツテ居リ、或所デハ悉ク一般ノ力ヲ以テ負擔シテ居ル處モ有リマス、ト申スガ如クニ區々ニナツテ居リマスルノデ因襲ハ今日ニ至ルモ尙ホ存シテ居リマス、而シテ今日府縣ノ行政區畫ハ御承知ノ如ク舊藩ノ一管轄ヲ以テ管轄ト極メタモノデハゴザイマセス、數藩ヲ皆合シテ居リマスカラ一府縣内ニ於テモ、東西利害ヲ異ニシテ居リマスノガ多クゴザイマス、又或ハ其利害ガ他府縣ニ及スト云フコトモゴザイマス、旁、此儘放任シテモシ一定不動ナ規定ニ致シテ置キマセヌナラバ彼此ノ利害ガ衝突シテ河川ヲ處理シ、或ハ之ヲ維持シテ往クニ就イテモ容易ナラヌ不利益ガアラウト思ヒマス、是レ此河川法ヲ設ケマシテ統一シナクチャナラヌト云フ考デ第一此案ヲ提出致シマシタルデアリマス、次ニハ河川ヲ管理致シマスル事、竝ニ河川ニ關スル警察取締ノ事デアリマス、封建時代ニ於キマシテハ此取締ヲ爲スニ就イテモ容易デアッタラウトハ存ジマスルガ、今日ノ如ク權利思想ノ發達シタル世ノ中ニ於テハ當時ノ如キ取締法ヲ施スコトノ出來ナイト云フコトハ言フマデモナイコト、存ジマス、現在一令ヲ發シ一案ヲ發シテ此取締ヲ爲シマスニ就イテモ一個人又ハ社會ノ法定ノ權利ニ障礙ヲ加ヘ、或ハ權能ヲ妨グルト云フコトモ往々有リマスカラ此邊ニ就イテモ河川法ニ於テ規定ヲ設ケマシテ、將來是等ノ取扱ヲ便利ニシナクチャナラヌ必要ガゴザイマス、其次ニハ河川ノ改良ノ事デアリマス、維新以來幾多ノ變遷ヲ經マシテ、政府デ直轄シテ居リマス大河川ニ就キマシテモ地方ニ依ッテ此經費

ノ負擔ハ一様ニナラズ或地方デハ地方稅ガ却テ國庫支出ノ高ヨリハ澤山ナル處モ有リマスレバ又殆ド皆國庫ト申シテモ宜シイ如キ不平等ナ事ガ有リマス。此河川法ヲ設ケマシテ經費ノ負擔等ヲ取極メマスルコトハ甚ダ必要ト存シマス、目下我國河川ノ情況ヲ見マスルト、斯ノ如キ有様ニ一任シテ置キマシタナラバ容易ナラヌ害ヲ生ジマセウト存シマス、或河川ノ如キニ就イテハ政府ハ既ニ其設計ヲ定メマシテ著手ヲ致サウト考ヘテ居リマス、旁、以テ此規定ヲ設ケマスル必要ヲ感ジ此案ヲ提出シテ諸君ノ御協賛ヲ請ヒマスル次第デアリマス、希クハ上來述ベマシタ事情ニ御洞察アリテ速ニ御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○馬屋原彰君 少シ質問致シタウゴザリマス、河川法案ハ頗ル範圍ノ廣イ法案デアリマシテ舟筏ノ通ズル大キナ河川ノミナラズ舟筏ノ通ゼザル小流ノ河川等ニマデモ及スト云フ區域ノ廣大ナル法律ノヤウニ見エマスルノデゴザイマス、成程斯ノ如キ法律ガ行ハレマシタナラバ河川其モノニ對シマシテハ管理監督等ノ能ク行届クニ相違アリマス、マシナレドモ之ニ反シテ或場合ニ於キマシテハ農業上ニ容易ナラヌ影響ヲ及シハシマイカト云フ疑ヲ持ッテ居リマス、ツレデ御尋致スノデアリマスガ從來各地方ニ於キマシテハ此河川ノ水ヲ田畑ニ引用スルトカ又河川ノ敷地ノ一部分ヲ農作物ノ干場ニ使用シテ居ルトカ云フヤウナ慣行ハ多ク有ラウト考ヘマスガ是等ノ點ニ就キマシテハ隨分此法律ヲ實施セラレマスニ就キマシテハ多少ノ困難ガアラウカト思ヒマス、ツレデ政府ハ右等ノ河川ノ舊慣ニ對スル處分ハ如何様ノ方針ヲ以テヤラレマスデアリマセウカ、成ルベク河川ノ舊慣ハ此農業上ニ關係スル場合ノ如キハ舊慣ノ儘ニシテ置ク御見込デアリマス、カ又ハ此河川法ノタメニ彼様ナ從來ノ慣習ハ有ッテモ漸次之ハ變更シテ往クト云フ御都合デアリマス、カ其處ヲ承ッテ置キタイ

(政府委員古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、第一此法律ハ如何ナル河ニデモ用ヒルヤウデアアルカト云フ御言葉ガアツタヤウデアリマスガ成程西洋ノ或國デ行ハレテ居ル制度ノヤウニ河ノ舟筏ノ通ズル部分ト舟筏ノ通ゼヌ部分トニ依ッテ區別ハシテナイデス、此法律ハ……ト申シマスルモノハ歐羅巴大陸杯ノ河ト違ッテ日本ノハ舟筏ノ通ゼヌ河デモ公共ノ利害ノ關係ハ大變大キイモノモゴザリマス、カ舟筏ノ通ズルト否トニ依ッテ河ノ大小ヲ區別スルコトハ出來マセヌ、故ニ此法律デハ其區別ハ採リマセヌダノデアリマス、ケレドモ馬屋原君ノ御話ノヤウニドナ處、ドナ小サイ處ノ河ニモ適用スルカト云フニサウデハナイ、ツレハ此第一條ニ「主務大臣ニ於テ公共ノ利害ニ重大ノ關係アリト認定シタル河川ヲ謂フ」ト其河川ニ關スル事ヲ規定シテアルノデゴザリマス、ソコデ其習慣ノ事デアリマスガ、勿論用惡水路ノ事、ツレカラ其河敷地ノ使用ノ事杯ハ取締ガ無クテハナリマセヌカラ三章ニ取締ハ設ケテアリマス、ケレドモ害ノナイノモ使用ヲ禁ズル、害ノナイノモ水ヲ引カセヌ、ソナナ事ハ決シテモ積、今日マデ使用シ來ッダノハ勿論將來ト雖モ害ノナイノハ唯許可ヲ得テヤレバ宜シイ、許可ヲ得ズニ勝手ニヤルコトハナラヌト云フダケニナッテ居ル、或ハ今日マデ許シ來ッダノデモ害ノアルノハツレハ禁ズルカモ知レナイ、將來トモ害ノナイモノハ新ニ許スカモ

知レナイ、決シテ其舊慣ヲ打破スルト云フコトハ少シモナイ積デゴザイマス、是デ宜シウゴザイマス、カ

○馬屋原彰君 今一應、此法案ノ第四條ノ所デゴザイマス、第四條ノ所ニ「地方行政廳ニ於テ河川ノ支川若クハ派川ヲ認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ」トアリマス、是ハ成程第一條ノ所ハ唯今御説明ノ通、本員モサウ解シテ居リマスガ尙ホ四條ノ所ヲ見マスルト云フト總テ此支川派川マデ此法律ヲ適用スルモノデアル、シテ見ルト云フト隨分區域ガ廣イト思フノデ先刻舟筏ノ通ズルト否トヲ問ハズ總テ河川ニ用ヒル法律デアラウト認メマシタ、唯今ノ舊慣デゴザイマス、デアリマスガ、先ヅツレハツレト致シテ置キマシテ唯今ノ舊慣デゴザイマス、或一例ヲ舉ゲテ御尋致シマスレバ或地方ニ依ッテハ河川ノ兩岸ノ敷地ト云フモノハ或ハ民有地ニ爲ッテ居ル處モ有リ又其河川ノ敷地ノ中ノ一部分ト云フモノガ民有地ニ爲ッテ居ル處モ有ルト考ヘマスガ、若シツレ等ノ處ガ有リマシタナラバ此法律ヲ施行サル、上ニ就キマシテハ買上ニデモ爲ルト云フ御方針デアリマセウカ、其處ヲ一ツ承リタウゴザイマス

○政府委員(古市公威君) 河川ノ敷地ト云フノハ馬屋原君ノ御話ノハ水ノ下ニデモナッテ居ル土地ナンドゴザイマス、カ

○馬屋原彰君 例ヘバ此天龍川トカ云フ川ニハ有ル事デ河原ニ爲ッテ居ル、水ノ流レト云フモノハ僅カ其中デ其河幅ノ中デモ、僅カナ流レヲ持ッテ居ル、大概左右ハモウ廣ク河原地ニ爲ッテ居ル、其河原地デアアル部分ニ石垣見タヤウナモノデ築キ上ゲテ色々ノ物ヲ植ヘタリスルコトハ信州邊デハ多ク見ル事デゴザイマス、ツレ等ノ事ヲ云フノデ……

○政府委員(古市公威君) 御答致シマス、モウ堤外地ハ堤外地デ存スル積デ、決シテ川敷トハ見ナイ、川敷ト云フ處ハ……堤外地ト云フノハ何デスナ、是ハ一寸其能ク話ガ間違ヒマスガ、堤カラ川ノ方ヘ寄ッタ土地デス、併シツレハ耕作シテ居ル土地、ツレハ堤外地トシテ一ノ民有地トシテ存スル積デス、唯法律ニ依ッテ幾ラ制限ヲ設ケルコトガ出來ル、川敷ト稱ヘテ居ルノハ純然タル河身、即チ水ノ流レル處若クハ荒地ノ部分……永遠河水ノ通ル處ト認メラレル處ハ此法律ニ依ッテ私權ノ目的トナルコトヲ得ズトシテ第三條ノ範圍ニ屬シテ仕舞フデス、ソコデツレガ其將來ドウ云フ事ヲ生ズルカト言フト、今度ハ川敷ニ變更スル場合、永遠ニ向ッテ變更スルダラウト認メラル、場合、其時ハ川敷ト云フモノハ變ル、變ルト云フト具ノ所有權ト云フモノハ御話ノ天龍川杯ノ場合デハ所有權ガ生キテ來ル、ツレハ四十四條デ、四十四條ヲ其場合ニハ適用スルト云フ積デアリマス、ツレカラ現ニ誰ガ見テモ川敷デ、今日ハマダ川敷トハ言ヘヌ、川敷トハ言ヘヌケレドモ是ハ川ノ利益ノタメニ川敷ニ編入シテ仕舞ハナケレバナラヌ、ト云フヤウナ時ニハ其部分ハ買上デモ川敷ニ編入スルカモ知レヌ

(馬屋原彰君買上ゲルデスナ)ト述フ

(馬屋原彰君) 其買上ゲル手續ハ收用法ニ依ルデスカ)ト述フ

勿論、其積デアリマス
○馬屋原彰君 モウ一箇條御尋致シマス、先ヅ此法律ヲ實施サレマスル上ニ

就キマシテハ國庫カラ補助セラル、金額ト云フモノハ大凡ソ一箇年ドノ位ノ高ヲ要スルダラウカト云フヤウナ御豫定デモアラウカト考ヘマスルガ其邊ハ何カ御調デモアリマスカ

○政府委員(古市公威君) 是ハゴザイマセヌ、ト言フモノハ經常費ニ向ッテ補助ト云フコトハナイデス、改修ノ事業デゴザイマスカラ國庫ノ經濟如何ニ依ッテハ既ニ確定シタモノハ是ハ改修ノ方ガアリマセヌガト繼續費ト爲ッテ此後起サウト云フモノハ國庫ノ經濟如何ニ依ッテ起スコトモ延バスコトモ出來マヌ、其方カラシテ確定シタモノハ無イ、ツレカラ又計畫ト云フモノガ立ッテ、改修ノ計畫ハ修繕費ヲ以テ維持ヲ補助スル、改修ノ計畫ガ立ッテ以上ハ費用ノ豫算ハ出來マセヌ、又ドノ川ヲ如何ニ改修スルト言フテモ大キナ川ノ改修費ハ積ッテアルモノデハアリマセヌカラ見込ハ立チマセヌ

○馬屋原彰君 モウ一箇條御尋致シマス、此町村制即チ此公共事業デ一團體デヤルコトモ出來ルト考ヘマスガ、尙ホ又此水利組合ト云フヤウナ法律モ有リマスカラ、ツレ等ノ法律ニ依ッテモ、此河川ト云フモノハ何デスナ、自ラ水利土工ト云フコトハサウ云フ方デモ既ニ今ヤラレルヤウニナッテ居リマスガ、此法律ハ即チ市町村ノ自治體デヤル公共事業デヤラレル所ハ其儘ヤラセ、又水利組合デヤラレルモノハ其儘ヤラセ、而シテ其餘ノ所デ大イナル所謂河川ノ改修事業トカ改良事業トカ云フモノヲ重モニ此法律デヤラウト斯ウ云フ一體方針ガアリマスカ、其處ヲ一寸御尋致シマス

○政府委員(古市公威君) イヤ、サウデゴザイマセヌ、此第一條ノヤウナ川ハ地方デ管理スルト云フノガ原則ニ爲ッテ居ル、此管理ト云フモノハ改修デモ何デモナイ、普通ノ川ノ仕事ハ總テ管理スル、サウシテ其中デ取除ノ川ガ有リマシテ或場合ニ於テハ下級團體ニ管理サセルコトモアル、ツレカラ或場合ニ於テハ主務大臣ガ取ッテ自ラ管理スルト云フコトモアリマシテ、決シテ改修ノ事バカリヲ規定シタハ法律デナイデス

○子爵曾我祐準君 一寸御序ニ第一條ニ「重大ノ關係アリト認定シタル河川」ト云フコトガアリマスガ、是モ調ガ付イテハ居ルマイガ此重大ノ關係アリト認定サウナ川ハ天下中ニ幾ラ有ルト云フ御考デアリマスカ、若シモ御分リニナラヌナラ漠然デモ宜シウゴザイマス、分ッテ居ルナラバ……

○政府委員(古市公威君) 是ハ少々漠然デスガ、曾テ其百三十五川程日本デ大キナマア此重大ノ關係アリト思ハレヤウカト云フモノヲ撰リ上ゲマシテサウシテ其河川ノ調査ヲシテ居リマス、ツレガ一應纏リマシテ、纏ッタト云フモノハ實地ノ調査ガ出來上リマシテ、ツレヲ今纏メテ居ル所デアリマス、是ガ出來上リマシタ餘程確實ナモノガ分リマセウト思ヒマス、先ヅ其中又大キナノヲ四十四本程撰ンダノデアリマス、ツレヨリチツト殖エルダラウト思ヒマス、是ハ唯川、利根川ナラ利根川ト云フコトデハ一向效能ノナイモノデ、河川調査ノ結果ニ依ッテ極メマスルト、利根川ノ何處以下ト云フコトニナッテ、此法律施行ノ區域ガ極マルノデアリマスガ、モウ其利根川ト云フ同シ名稱デモ、利根川ハ重大ノ關係ガアル河川ダカラ即チ此法律ハ利根川ノ水源マデ行クカト云フトサウハ行カナイ、或ル區域カラ切ラナケレバナラヌ、ツレ故ニ確實ナ御答ハ出來マセヌガ先ヅ五六十本ハゴザイマセウ、ツレカラ此法律ハ成ルタケ確實ニ成ルタケ廣ク適用シテ取締ヲ付ケタイト考ヘテ居ルノデ

ゴザイマス

○船越衛君 一寸質問致シマス、河川ノ事ハ舊慣モ多イヤウデゴザイマスガ、此三十七條ノ「區域内ニ於テ不均一ノ賦課ヲナスコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ、是ハ矢張舊慣ダケノ處分デゴザイマスカ、ツレハ一體……序ニ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(古市公威君) 是ハ全ク新シイノデ舊慣ニ依ッタ譯デハアリマセヌ

○船越衛君 サウスルト舊慣ハ勿論、舊慣デモ至當ノ事ハ矢張此法デヤルト云フ御趣意デゴザイマセウカ、唯ツレノミデハナイノデアラウト思ヒマスガ……

○政府委員(古市公威君) 一寸今ノ御尋ハ……

○船越衛君 新シイノミト云フ御答デゴザイマシタガツレハマルデ止メテ別ニ均一ニスルト云フ主意デゴザイマスカ

○政府委員(古市公威君) イヤ、サウデハナイ、成程今船越君ノ御話ハ町村デ幕府ノ制度デハ草高百石ニ附キ人夫五十人ト云フヤウナ事ガアツタガ、ツレヲサウ云フコトヲスルカト云フ御尋デゴザイマスカ

○船越衛君 エー

○政府委員(古市公威君) 詰リ地方稅ヲ均一ニ賦課スルト云フコトヲ此法律デ許シタノデアリマスカラ、此外ニ又町村ガ何カ負擔スルト云フコトハ是ハ又別問題ニシテ、地方稅トシテ均一ニ賦課スルト云フノガ此規程デアリマスカ、此規程ハ新シキ規程デアルト云フノデアリマス

○船越衛君 サウ致シマスルト町村ノ是マデノ舊慣デハ御演說ニアッタ人夫ヲ出ストカ云フ分ハ這入りマセヌカ

○政府委員(古市公威君) ツレハ妨グヌノデアリマス

○船越衛君 妨グヌ

○政府委員(古市公威君) ハイ

○三宅秀君 一寸第一條ノ主務大臣ト云フコトニ就イテ其説明ヲ請ヒタイノデアリマスガ、先刻カラ主務大臣ト云フコトガ度々出テ居リマスルガ本員ニハ此主務大臣ト云フノハ此案ヲ御提出ニナッタ内務大臣ト云フ方ノ意味デアリマスガ、ツレナラバ内務大臣トアリサウナモノデアリマスガ特ニ主務大臣ト茲ニ書イテアリマスルハ譬ヘバ河川デアリマスカラ田用水、其川デ養魚ヲスルト云フヤウナ事ハ大關係ヲ持ッテ即チ公共ノ利害ニ大關係ヲ持ッテ居リマスルカラ、其場合ニハ農商務大臣ガ必要ト認メルト云フ譯ニナッテ居ルノデ又或時ハ其重大ノ關係ト云フモノハ農商務大臣ガ認定スルトデアアル、又譬ヘバ人間ガ其水ヲ飲ミ上水ノ水ヲ飲ムコトハ内務大臣ガ公共ノ關係大ナリト認メル、或時ハ内務大臣或時ハ農商務大臣ト云フ、其主務大臣ガ認定サル、譯デアリマスガ、全ク主務大臣ト書クノハ内務大臣ノ方ニ止ッテ居ルノデアリマスガ其邊ヲ……

○政府委員(古市公威君) 茲ハ第一條ノハ内務大臣ニ極ッテ居リマス、決シテ用惡水ニ關係ガアルカラ農商務大臣ガ關係スルト云フコトハナイ

○議長(侯爵須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○船越衛君 本案ハ河川ニ就キマシテハ必要ナ案デゴザイマス、ドウカスウ云フ主意ハ行レタイト思ヒマス、併シ條モ大層有リマス、餘程審査モ鄭重ヲ要スルト希望致スノデアリマス、ドウゾ特別委員ハ十五名、議長ノ御選定ヲ仰ギマス

○子爵曾我祐準君 議長ノ選舉ニ委託スルコトハ賛成デアリマスガ、今ノ十五名ニハ反對デアリマス、此案ノ性質カラ言フト十五名モ二十名モ欲シノデアリマスガ、此頃ハ案ガ非常ニ澤山有テ、十五名ツツ十組ノ委員ヲ拵ヘレガ出來ルコトナラバ十五人ニモ二十人ニモシタイガ餘程委員ガ引ツ張合ニナツテ、十ヲ十五人ツツノ委員ヲ拵ヘルト百五十人ニ爲ル、是ハ餘程迷惑デアラウト思フ、ソレモ議事ノ先キガ長ケレバ構ヒマセヌガ少シ是ハ考ヘドコロデアラウト思ヒマスニ依ツテドウゾ正則ノ九人ノ委員ニナランコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 本員モ全ク曾我子爵ト同論デアリマスルカラ九人ノ方ニ賛成デアリマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 選定ハ曾我子爵ノ御論モ議長ニ託スルト云フコトデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 左様デゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今船越君ヨリ動議ガ出マシタガ賛成ガゴザイマセヌ、曾我子爵ヨリ定規ノ人數ニ致シテ委員ノ選定ハ議長ニ託スルト云フ動議、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ裁判所ノ設立及位置並管轄區域ノ變更ニ關スル法律、政府提出衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

裁判所ノ設立及位置並管轄區域ノ變更ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十二條ニ依リ及送付候也

明治二十九年三月十三日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第一條 橫濱地方裁判所管內八王子區裁判所ヲ東京地方裁判所ノ管轄トス但此ノ法律施行前ニ於テ八王子區裁判所ノ爲シタル裁判ニ對スル上訴ハ橫濱地方裁判所ノ管轄トス

第二條 札幌地方裁判所管內北見國宗谷郡稚內村ニ稚內區裁判所ヲ置ク札幌地方裁判所管內札幌區裁判所ヲ日高國浦河郡浦河村ニ移シ浦河區裁判所ト改稱ス
稚內區裁判所及浦河區裁判所開廳ノ期日ハ司法大臣之ヲ定ム但稚內區裁判所ノ管轄ニ屬スヘキ事件ハ其ノ開廳マテハ仍ホ増毛區裁判所ヲシテ管轄セシム

第三條 裁判所位置及管轄區域表中東京、橫濱、水戸、浦和、前橋、長野、新潟、奈良、福井、和歌山、高松、名古屋、廣島、山口、福島、山形、盛岡、秋田、札幌ノ各地方裁判所管內ニ於ケル區裁判所管轄中左表ノ通改定ス

裁判所位置及管轄區域表

控訴院	地方裁判所	區裁判所	管轄	
			市	町 村
東京	八王子	武藏	南多摩郡 西多摩郡 北多摩郡	都筑郡
		武藏	橫濱市 久良岐郡 橋本郡	都筑郡
橫濱	橫濱	相模	鎌倉郡 津久井郡 高座郡 内 松林村 大和村 鶴嶺村 綾瀨村 寒川村 小出村 六會村 新磯村	大澤村 相原村 大野村 流村
		相模	新治郡 内 中家村 東村 阿見村 舟島村	新治郡 内 朝日村 河内郡 内 小野川村 筑波郡 内 谷田部町 小張村 板橋村 久賀村 三島村 島名村 北條町 小田村 旭村
水戸	土浦	常陸	河内郡 内 龍ヶ崎町 大宮村 生板村 源清田村 長竿村 關柴村 大須賀村	河内郡 内 牛久村 根本村 長月村 八原村 伊崎村 華崎村 奥野村 鳩崎村
		常陸	信太郡 内 高田村 太田村 柴崎村 沼里村 奥野村 鳩崎村	信太郡 内 信太郡 内 高田村 太田村 柴崎村 沼里村 奥野村 鳩崎村
浦和	武藏	下總	北相馬郡 新座郡 内 南埼玉郡 内 葛溝町 綾瀨村 三合村 美谷本村 笹目村 川口町 谷田村 大久保村 三橋村 大石村	北相馬郡 新座郡 内 南埼玉郡 内 葛溝町 綾瀨村 三合村 美谷本村 笹目村 川口町 谷田村 大久保村 三橋村 大石村
		下總	浦和町 六辻村 土合村 美谷本村 笹目村 川口町 谷田村 大久保村 三橋村 大石村	浦和町 六辻村 土合村 美谷本村 笹目村 川口町 谷田村 大久保村 三橋村 大石村

長 野		前 橋		熊 谷		秩父郡ノ内	
上 田 信濃	長 野 信濃	高 崎 上野	前 橋 上野	熊 谷 武藏		秩父郡ノ内	秩父郡ノ内
小縣郡ノ内 埴科郡ノ内 南條村 埴生村 雨宮縣村 更級郡ノ内 桑原村	埴科郡ノ内 清野村 寺尾村 東福寺村 榮村 川柳村 大岡村 中津村 更級郡ノ内 上水内郡 上高井郡	片岡郡 西群馬郡ノ内 高崎町 京ヶ島村 長野村 倉賀野町 相馬村 倉田村 金古町 室田村 桃井村	東群馬郡ノ内 南勢多郡 佐位郡 那波郡 西群馬郡ノ内 東村 古卷村 山田郡ノ内 大間々町 福岡村 元總社村 明治村 白郷井村 小野上村 高山村 豐秋村 伊香保町 駒寄村 金島村	比企郡ノ内 松山町 龜井村 七郷村 平村 秩父郡ノ内 大櫛村 大河原村 槻川村 比企郡ノ内 大岡村 今宿村 八和田村 玉川村 明覺村 北萩島村 須影村 關根村 羽生町 埼玉村 屈巢村 共和村 井泉村 手子林村 北河原村 上中條村 北河原村 下忍村 新郷村 川俣村 藤間村 關根村 北萩島村 須影村 今井村 星宮村 長野村 屈巢村 共和村 井泉村 手子林村 大塚村 持田村 荒木村 廣田村 太田村 手子林村		大里郡 賀美郡 北埼玉郡ノ内 成田村 南河原村 太井村 須加村 岩瀨村 眞名板村 中手子林村 比企郡ノ内 松山町 龜井村 七郷村 平村 秩父郡ノ内 大櫛村 大河原村 槻川村 比企郡ノ内 大岡村 今宿村 八和田村 玉川村 明覺村 北萩島村 須影村 關根村 羽生町 埼玉村 屈巢村 共和村 井泉村 手子林村 北河原村 上中條村 北河原村 下忍村 新郷村 川俣村 藤間村 關根村 北萩島村 須影村 今井村 星宮村 長野村 屈巢村 共和村 井泉村 手子林村 大塚村 持田村 荒木村 廣田村 太田村 手子林村	榎澤郡 横見郡 嶺羅郡 那珂郡 男妾郡 兒玉郡

(17)

廣		屋 古 名		阪		和 歌 山			
廣	島	名 古 屋		高 松					
吳	安藝	新 城 三 河	豐 橋 三 河	三 本 松	高 松 讃 岐	御 坊 紀 伊	田 邊 紀 伊	妙 寺 紀 伊	和 歌 山 紀 伊
中切村 早田原村 上黒瀬村 三津口村 乃美尾村	賀茂郡ノ内 吉浦村 賀茂郡ノ内 下黒瀬村 郷原村 仁方村 阿賀村 川尻村	安藝郡ノ内 和庄町 吉浦村 賀茂郡ノ内 上黒瀬村 郷原村 仁方村 阿賀村 川尻村	安藝郡ノ内 和庄町 吉浦村 賀茂郡ノ内 上黒瀬村 郷原村 仁方村 阿賀村 川尻村	大内郡 羽床村 山田村 西分村 千足村	高松市 三木郡 香山郡 山田郡 小豆郡	日高郡ノ内 御坊村 湯川村 三尾村 白崎村 衣奈村 印南村 早蘇村 早蘇村	東牟婁郡ノ内 大島村 日高郡ノ内 龍神村 上南郡村 高城村 中山路村 下山路村 岩代村	伊都郡ノ内 粉河町 川原村 瀬川村 池田村 名手村 上名手村 龍門村 麻生津村	和歌山市 名草郡 海部郡 有田郡

宮					島		
盛 岡		山 形		福 島		山 口	
秋 田	宮 古	遠 野	鶴 岡	郡 山		平	竹 原
羽後	陸 中	陸 中	羽 前	磐 城	岩 代	磐 城	安 藝
下 津 村	秋田郡ノ内 南秋田郡 河邊郡	西閉伊郡 南閉伊郡	西田川郡ノ内 大寶寺村 京田村 湯田川村 東郷村 福山町 湯田川村 福山町 湯田川村 東郷村 福山町				

館 函		城	
札		秋	
幌		田	
稚	增	本	
内	毛	庄	
北	天	羽	
見	鹽	後	
宗谷郡	留萌郡	由利郡ノ内	
枝幸郡	上川郡	本莊町	
利尻郡	中川郡	南打越村	
禮文郡	天鹽郡	直根村	
	苫前郡	下郷村	
		上川大内村	
		平澤村	
		院内村	
		金浦村	
		下川大内村	
		上濱村	
		子吉村	
		北打越村	
		川内村	
		玉米村	
		龜田町	
		笹子村	
		岩谷村	
		西目村	
		鮎川村	
		石澤村	
		東瀧澤村	
		松ヶ崎村	
		大正寺村	
		上郷村	
		鹽越村	
		小出村	
		矢島町	
		小友村	

〔國務大臣芳川顯正君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(芳川顯正君) 諸君、此案ハ此ノ如ク條項ハ澤山有リマスルガ、多クハ裁判所ノ位置ノ變更ニ關シテ登記ノ便利ヲ計リマスルヨリ立案ヲ致シタルノデアリマス、多クハ地方人民ノ請願ニ依リ裁判所及地方廳ニ命ジテ其便否ヲ調査致サセ此案ヲ組立テマシタ、至ッテ簡單ナ理由デアリマス、唯此中ニ二三箇條特ニ御話ヲ申シテ置キタイノハ、其一ツハ曾テ當院ノ議ニ上リマシタル三多摩郡ノ事デアリマス、慥カ二十六年ト覺エマスガ法律十二號ヲ發セラレタル主意ノ結果トシテ神奈川縣下ノ三多摩郡ヲ割イテ東京府ニ屬セラレマシタルデアリマス、ウレガ故ニ此裁判所ノ管轄區域ヲ神奈川ヨリ東京府ヘ移サウト云フノデアリマス、從來ノ慣行ニ依リマスルト裁判所ノ裁判管轄區域ハ必ズ行政區域ト同一ニ爲ッテ居リマスルニ依リ三多摩郡ヲ東京府ヘ屬セラレマシタ以上ハ裁判所管轄區域モ同ジク東京府ノ裁判所ノ管轄區域ニ移サウト云フノデアリマス、其次ニハ北海道札幌地方裁判所ノ管轄區域内ニ在リマスル幌泉區裁判所移轉ノ事デアル、此裁判所ハ開拓使以來存シテアリマスルノデアリマスガ、北海道ノ如キ新開ノ地ニ於キマシテハ僅ノ年所ヲ經ザル内ニ盛衰地ヲ殊ニスル次第デアリマスカラ、目今ノ狀況ニ於テハ幌泉ハ甚ダ不當ニシテ他ニ繁盛ノ地ガ出來マシテ、郡役所モ警察署モ有ルト云フ便利ナル地ガ有リマス、即チ浦河デアリマス、加フルニ廳舎ハ開拓使以來殆ト朽腐致シテ居リマスル建物デアリマスカラ寧ロ此便利ナル繁華ナル地ニ移シタ方ガ宜カラウト云フノデ移轉致シマスノデアリマス、第三ニハ宗谷郡ノ内ノ増毛ニ區裁判所ガ有リマス、然ルニ此裁判所ノ管轄區域ハ極メテ廣ク其中ニ於テ稚内村デアリマスルガ近時ニ至リマシテハ漁業ガ頗ル發達致シ隨ッテ人民ノ輻湊スルコトモ夥シイノデアリマス、ウレ故ニ爭訟事件ノ起リマスルコトモ多ク有リマスルガ、其度毎ニハ必ズ増毛區裁判所ヘ持ッテ來ナクチャナラス、海上ノ里程ハ八九十哩、陸路ハ四五十里モアッテ甚ダ不便デゴザイマス、ソレデ稚内ニ區裁判所ヲ新設シヤウト云フノデゴザイマス、審議アリテ此案向ヒ速ニ御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵伏原宣足君 本案ノ特別委員ハ議長ノ選定ニナランコトヲ希望致シマ

○子爵曾我祐準君 贊成

○議長（侯爵蜂須賀茂龍君） 伏原子爵ヨリ委員ハ議長ニ於テ選定ニナルヤウ
ニトノ動議、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者多數

○議長（侯爵蜂須賀茂韶君）多數デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 本員ハ此ニ一ツノ勳議ヲ出シマス、次ノ議事日程ハ第十二ヨリ四十七ニ至ルマデ是ハ總テ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待ヲ願ヒタイ、ソレハドウ云フ何カハ知リマセヌガ未ダ移ッテハ居リマセヌ

(子爵曾我祐準君 移リマシタラ一問題ニナラウト存ジマスカラ移リマセヌ先キガ時機カト存ジマス、十二ヨリ四十七マデ……唯今申シカケマシタノハ總テ郡ノ廢置若クハ境界ノ變更デアリマス、之ヲ同一ニ議シタイト云フノデアリマス、サウシテ澤山ノ條數デハアリマスガ一案トシテ左程長イノハゴザイマセヌ、故ニ之ヲ二ツニ分ケマシテ九縣ヅツ委員ヲ……委員ノ選定ハ議長ニ委託致シマシテ、サウシテ十八縣ヲ九縣ヅツ二ツニ分ッテ審査委員ニ付託致シタイト云フ斯ウ云フ動議デゴザイマス、十八縣ヲ一問題トシテサウシテ九縣ヅツ二ツノ委員ニ付託致シタイト云フ動議デアリマス」ト述フ)

置イテ此問題ニ移ッテ後動議ヲ御發シニナツタラ宜カラウト思ヒマス
暫ク……動議ノ御提出ハ早イト思ヒマス、豫言ナラバ宜シイガ……豫言シテ

〔子爵曾我祐準君何レデモ宜シウゴザイマスガ皆第何番々々ト云フコトヲ朗讀ニナリマシテ、サウシテ同一委員ニ付スルト云フ……〕ト述

サウデハナイノデ、曾我子爵ハ過日御缺席デアリマシタガ既ニ郡廢置法律案

此ハ前ニモハツノ郡磨置法律案ト云フモノヲ一時ニ問題ニ供サウト云フ次第デ
 ザイマス、ソレデ今日モサウニシテ問題ニ供サウト云フ次第デ
 ドウゾイマス、

〔子爵曾我祐準君〕「左様デゴザイマスカ、ソレデハ宜シウゴザイマス。」

大阪府下郡廢置法律案以下總テ十七縣同一ノ郡廢置法律案ガ有リマス、是ハ過日ノ例モアリマスニ依ッテ第一讀會ヲ簡更法ニ依ッテ合ヒテ開カウト存ズ

ルノデゴザイマス、併ナガラ唯一會我子籌ノ豫言モアリマスニ依ツテ……之ヲ二ツニ分ケルト云フコトハ至極便利デアラウト思ヒマス、先ヅ二ツニ分ケ

マシテ大阪府下郡廢置法律案以下八縣ダケノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略ヲ致シマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年三月十三日
衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿
〔以下通牒文略ス〕

託スヘキ特別委員ノ選舉 大阪府下外八縣郡分合及廢置法律案 第一讀會 四三三

大阪府河内國石川郡、錦部郡、八上郡、古市郡、安宿郡、丹南郡ヲ廢シ其ノ區域ト志紀郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部（道明寺村、小山、村、松トヲ以テ南河内郡ヲ置

大阪府河内國丹北郡、大縣郡、高安郡、河内郡、若江郡及澁川郡ヲ廢シ其ノ區域ト志紀郡ニ屬セシ區域ノ一部（三木、本村トヲ以テ中河内郡ヲ置

大阪府河内國茨田郡、交野郡及讀賣郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ北河内郡ヲ置

大阪府和泉國大島郡及泉郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ泉北郡ヲ置

大阪府和泉國南郡及日根郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ泉南郡ヲ置

大阪府攝津國東成郡及住吉郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ東成郡ヲ置

大阪府攝津國島上郡及島下郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三島郡ヲ置

大阪府攝津國豐島郡及能勢郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ豐能郡ヲ置

附則
此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案
兵庫縣攝津國武庫郡、菟原郡及八上郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ武庫郡ヲ置

兵庫縣攝津國川邊郡ノ一部（高平村）ヲ同縣同國有馬郡ニ編入ス

兵庫縣但馬國城崎郡、美含郡及氣多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ城崎郡ヲ置

兵庫縣但馬國七美郡及二方郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ美方郡ヲ置

兵庫縣播磨國飾東郡及飾西郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ飾磨郡ヲ置

兵庫縣播磨國神東郡及神西郡ヲ廢シ其ノ區域ト多可郡ノ一部（越知谷村）トヲ以テ神崎郡ヲ置

兵庫縣播磨國揖東郡及揖西郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ揖保郡ヲ置

附則
此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

埼玉縣下郡廢置及郡界變更法律案
埼玉縣武藏國北足立郡及新座郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ北足立郡ヲ置

埼玉縣武藏國入間郡及高麗郡ヲ廢シ其ノ區域ト比企郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部（植木村）トヲ以テ入間郡ヲ置

埼玉縣武藏國橫見郡ヲ廢シ其ノ區域ト比企郡ニ屬セシ區域ノ一部（松山町、大岡村、福田村、宮前村、唐子村、菅谷村、七郷村、八和田村、小川町、大河村、竹澤村、平村、玉川村、明覺村、龜井村、今宿村、高坂村、野本村、小見野村、中山村、八ッ保村、伊草村、三保谷村、出丸村）トヲ以テ比企郡ヲ置

埼玉縣武藏國兒玉郡、賀美郡及那珂郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ兒玉郡ヲ置

埼玉縣武藏國大里郡、幡羅郡、榛澤郡及男衾郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大里郡ヲ置

埼玉縣武藏國北葛飾郡及同縣下總國中葛飾郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ北葛飾郡ヲ置

群馬縣上野國片岡郡ヲ廢シ其ノ區域ト西群馬郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部（高崎町、元總社村、車鄉村、長野村、清里村、相馬村、龍川村、六郷村、室田村、大類村、箕輪村、久留馬村、國府村、總社町、金古町、佐野村、東村、上郊村、倉田村、岩鼻村、中川村、新高尾村、塚澤村、堤ヶ岡村、倉賀野町、澁川町、京ヶ島村、長尾村、小野上村、古卷村、白郷井村、金島村、桃井村、駒寄村、明治村、豐秋村、伊香保町）トヲ以テ群馬郡ヲ置

群馬縣上野國西群馬郡ニ屬セシ區域ノ一部（高山村）ヲ同縣同國吾妻郡ニ編入ス

群馬縣上野國綠野郡、多胡郡及南甘樂郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ多野郡ヲ置

群馬縣上野國利根郡及北勢多郡ヲ廢シ其ノ區域ト吾妻郡ノ一部（久賀村）トヲ以テ利根郡ヲ置

群馬縣上野國佐位郡及那波郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ佐波郡ヲ置

附則
此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

千葉縣下郡廢置法律案
千葉縣安房國安房郡、平郡、朝夷郡及長狹郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ安房郡ヲ置

千葉縣上總國望陀郡、周准郡及天羽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ君津郡ヲ置

千葉縣上總國長柄郡及上埴生郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ長生郡ヲ置

千葉縣上總國山邊郡及武射郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ山武郡ヲ置

千葉縣下總國東葛飾郡及南相馬郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ東葛飾郡ヲ置

千葉縣下總國印旛郡及下埴生郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ印旛郡ヲ置

附則
此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案
茨城縣下總國結城郡、岡田郡及豐田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ結城郡ヲ置

茨城縣下總國西葛飾郡及猿島郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ猿島郡ヲ置

茨城縣常陸國信太郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部（江戸崎町、君賀村、沼里村、奥野村、朝日村、君原村、阿見村、鳩崎村、木原村、舟島村、安中村、浮島村）ト河内郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部（大宮村、生板村、源清田村、長竿村、柴崎村、根本村、長戸村、八原村、岡田村、馴柴村、牛久村、草崎村、太田村、高田村、大須賀村、伊崎村、阿波村、古渡村、龍ヶ崎町）トヲ以テ稻敷郡ヲ置

茨城縣常陸國筑波郡ノ一部（山ノ莊村）及信太郡ニ屬セシ區域ノ一部（東村、中家村）ヲ同縣同國新治郡ニ編入ス

茨城縣下總國北相馬郡ノ一部（長崎村）同縣常陸國新治郡ノ一部（葛城村、大穗村、田水山村）及同縣常陸國河内郡ニ屬セシ區域ノ一部（小野川村）ヲ同縣常陸國筑波郡ニ編入ス

附則
此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

福島縣下郡廢置法律案

福島縣磐城國菊多郡磐前郡及磐城郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ石城郡ヲ置ク
福島縣磐城國標葉郡及標葉郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ染羽郡ヲ置ク
福島縣磐城國行方郡及宇多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ相馬郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案

巖手縣陸中國南巖手郡及北巖手郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ巖手郡ヲ置ク
巖手縣陸中國西和賀郡ヲ廢シ其ノ區域ト東和賀郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部
(黑澤尻町、鬼柳村、岩崎村、横川目村、藤根村、江釣子村、笹間村、飯豐村、二子
村、立花村、更木村、中内村、谷内村、十二鎗村、小山田村)トヲ以テ和賀郡ヲ置
ク
巖手縣陸中國東和賀郡ニ屬セシ區域ノ一部(相去村)ヲ同縣同國膽澤郡ニ編
入ス

巖手縣陸中國西閉伊郡及南閉伊郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ上閉伊郡ヲ置ク
巖手縣陸中國東閉伊郡中閉伊郡及北閉伊郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ下閉伊
郡ヲ置ク

附則

巖手縣陸中國南九戸郡及北九戸郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ九戸郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

(子爵曾我祐準君「九縣ニ願ヒマス」ト述フ)

八縣……大阪府下外八縣デアリマス
○子爵小笠原壽長君 一寸何デモナイ簡單ナ質問デゴザイマスガ、此府縣ノ
郡廢置法律案ハ澤山出テ居リマスガ、此實施ノ期限ヲ見マスルノニ本年四月
一日ト云フノト三十年四月一日ト云フノト斯ウニ様ニ爲ッテ居リマスガ、是
ハ何カ斯ウセヌナラヌ必要ガアルノデゴザイマスガ、其邊ヲ確メテ置キマ
ス

○政府委員(木内重四郎君) 是ハ實ハ豫算ノ都合デアリマス、郡役所ノ數ノ
増減ノナイモノハ直ニ本年ノ四月一日ヨリ施行スルノデアリマス、郡役所ノ
數ノ殖エルノハ郡長郡役所ヲ置クカラ直ニ施行スル都合ニ參リマセヌ、尤モ
郡長ガ殖エルノハ富山福岡廣島縣杯デアリマス、他ハ減ズルノデアリマス、差
引キ豫算上ニ増減ノナイ所ハ本年四月カラ直ニ、其殖エル所ハ來年度カラ施
行スルト云フノデアリマス

○子爵小笠原壽長君 分リマシタ

○船越衛君 一寸質問ガゴザイマスガ千葉縣ノ中ノ村上郡ト長狹郡ハ從來領
分ガ……(低聲聽取レ難シ)……此案ヲ見マスルト却ッテツレヨリ大キナ
……(低聲聽取レ難シ)

○政府委員(木内重四郎君) 今日ハ同一ノ行政區域ニ屬シテ居リマスガ兩郡
ノ人民ハ各獨立ヲ希望シ郡長モ同様ノ意見ヲ上申シ縣知事カラモ同様ノ意見
ヲ上申シテ居リマスカラ政府ニ於テモ各郡獨立セシムルノ意見デアリマス

○船越衛君 其他ハ皆人民ハ希望致シテ居リマスガ

○政府委員(木内重四郎君) 希望致シテ居リマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今議題ト爲ッテ居リマスノハ大阪府下郡廢置
法律案以下九縣デアリマシテ即チ巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案、是マデ
デアリマス、本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵曾我祐準君 委員ハ議長ノ御選定ニ任セタウゴザイマス

○子爵林友幸君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○子爵小笠原壽長君 曾我子爵ニ一寸御質問ヲ致シマスガ委員ハ九名デアリ
マスガ、十五名デアリマスガ

○子爵曾我祐準君 特別ニ何トモ言ハヌノハ九名ト心得テ居リマス
○子爵小笠原壽長君 本員ハ十五名トシタラ宜シイト考ヘマス、前案八縣ノ
モ矢張十五名ト心得テ居リマスカラ……隨分郡廢置法律案ニハ色々ナ關係ガ
アリマスカラ本員ハ十五名ノ委員ニ致シタイ、十五名ノ動議ヲ提出シタイト
考ヘマス

○子爵曾我祐準君 今小笠原子爵カラ十五名説ガ出マシタガ、十五名説ノ困
難ナルコトハ先刻盡シマシタカラ別段申シマセヌ、且ツ斯ウ云フコトハ多イ
トナカク、八件モ十五人デヤルト急ニハ出來マセヌ、一口ツツ言ッテモ十
五口デアリマスカラ却ッテ少イ方ガ排取ガ宜カラウト思ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 曾我子爵ヨリ大阪府下以下九縣ノ審査委員ハ議
長ニ於テ選定ニナリタイト云フ動議、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、次ニ富山縣下郡分離及廢
置法律案以下九縣ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
富山縣下郡分離及廢置法律案
富山縣越中國上野川郡ノ一部(西水橋町、西三鄉村、東三鄉村、舟橋村、利田
村、寺田村、五百石町、高野村、下段村、大森村、釜ヶ淵村、立山村、上段村、東谷
村、柿澤村、大岩村、弓庄村、白萩村、音杉村、上市町、相ノ木村、宮川村、上條村、下
條村、東水橋町、滑川町、南加積村、山加積村、中加積村、西加積村、北加積村、東加
積村、早月加積村、濱加積村)ヲ以テ中新川郡ヲ置ク
富山縣越中國射水郡ノ一部(太田村、宮田村、窪村、佛生寺村、布勢村、神代村、
十二町村、氷見町、加納村、上庄村、熊無村、速川村、久目村、阿尾村、敷田村、余川
村、稻積村、碓石村、八代村、宇波村、女良村)ヲ以テ氷見郡ヲ置ク
富山縣越中國礪波郡ヲ廢シ其區域ノ一部(北山田村、山田村、南山田村、大鋸
屋村、城端町、能美村、平村、上平村、利賀村、青島村、東山見村、雄神村、梅檀山
村、梅檀野村、般若村、東般若村、般若野村、中田町、南般若村、北般若村、柳瀬
村、太田村、中野村、油田村、庄下村、井波町、南山見村、井口村、高瀬村、山野村、種
田村、福野町、南野尻村、廣塚村、野尻村、東野尻村、五鹿屋村、出町)ヲ以テ東礪
波郡ヲ置キ其ノ區域ノ一部(石動町、宮島村、子撫村、南谷村、埴生村、北疊谷

村、南蟹谷村、東蟹谷村、敷波村、石黒村、西野尻村、福光町、西太美村、廣瀬村、廣瀬館村、太美山村、東太美村、吉江村、東石黒村、戸出町、津澤町、水島村、鷹栖村、高波村、林村、醍醐村、是戸村、小勢村、福田村、東五位村、立野村、山王村、福岡町、正得村、大瀧村、松澤村、若林村、荒川村、西五位村、五位山村、石堤村、赤丸村、國吉村ヲ以テ西礪波郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

鳥取縣下郡廢置法律案

鳥取縣因幡國邑美郡、法美郡及岩井郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ岩美郡ヲ置ク

鳥取縣因幡國八上郡、八東郡及智頭郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ八頭郡ヲ置ク

鳥取縣因幡國高草郡及氣多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ氣高郡ヲ置ク

鳥取縣伯耆國河村郡、久米郡及八橋郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ東伯郡ヲ置ク

鳥取縣伯耆國汗入郡及會見郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ西伯郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

島根縣下郡廢置法律案

島根縣出雲國島根郡、秋鹿郡及意宇郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ八束郡ヲ置ク

島根縣出雲國出雲郡、楯縫郡及神門郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ簗川郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

熊本縣下郡廢置法律案

熊本縣肥後國飽田郡及託麻郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ飽託郡ヲ置ク

熊本縣肥後國山鹿郡及山本郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ鹿本郡ヲ置ク

熊本縣肥後國菊池郡及合志郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ菊池郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

鹿児島縣下郡廢置法律案

鹿児島縣日向國南諸縣郡及同縣大隅國東贈嶽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ贈嶽郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ鹿兒島郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿児島縣薩摩國鹿兒島郡及嶺山郡並同縣大隅國北大隅郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊佐郡ヲ置ク

鹿兒島縣薩摩國川邊郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(川邊村、加世田村、東加世田村、西加世田村、勝目村、東南方村、西南方村)ト給黎郡ニ屬セシ區域ノ一部(知覽村)トヲ以テ川邊郡ヲ置ク

鹿兒島縣薩摩國日置郡及阿多郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ日置郡ヲ置ク

鹿兒島縣薩摩國薩摩郡、高城郡、南伊佐郡及甌島郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ薩摩郡ヲ置ク

鹿兒島縣薩摩國川邊郡ニ屬セシ區域ノ一部(硫黃島、黒島、竹島、口ノ島、臥蛇島、平島、中ノ島、惡石島、諏訪ノ瀨、寶島)ヲ同縣大隅國大島郡ニ編入ス

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

岡山縣兵庫縣境界變更並福岡縣大分縣境界變更法律案

第一條 岡山縣及兵庫縣ノ境界ヲ變更スルコト左ノ如シ

岡山縣美作國吉野郡石井村ヲ兵庫縣播磨國佐用郡ニ編入シ岡山縣美作國吉野郡讀甘村大字中山ヲ兵庫縣播磨國佐用郡江川村ニ編入ス

第二條 福岡縣及大分縣ノ境界ヲ變更スルコト左ノ如シ

福岡縣豐前國上毛郡高濱村大字小祝ノ内山國川支流以東ヲ大分縣豐前國下毛郡中津町ニ編入ス

第三條 此ノ法律施行ノ爲メ縣ノ財產處分ヲ要スルトキハ關係縣會ノ意見ヲ聞キ其ノ關係縣知事協議ノ上之ヲ定ムヘシ若協議整ハサルトキハ內務大臣ノ裁定ヲ請フヘシ

第四條 衆議院議員及縣會議員ノ選舉及被選舉資格中其ノ年限ニ關スルモ

ノハ此ノ法律ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ中斷セラルルコトナシ

第五條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

奈良縣下郡廢置法律案

奈良縣大和國添上郡及山邊郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ東平城郡ヲ置ク

奈良縣大和國添下郡及平群郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ西平城郡ヲ置ク

奈良縣大和國廣瀨郡及葛下郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ葛城郡ヲ置ク

奈良縣大和國高市郡葛上郡及忍海郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ橿原郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

三重縣下郡廢置法律案

三重縣伊賀國阿拜郡及山田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿山郡ヲ置ク

三重縣伊賀國名張郡及伊賀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ名賀郡ヲ置ク

三重縣伊勢國三重郡及朝明郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三重郡ヲ置ク

三重縣伊勢國龜岩郡及河曲郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ河養郡ヲ置ク

三重縣伊勢國飯高郡及飯野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ飯南郡ヲ置ク

三重縣志摩國答志郡及英虞郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ志摩郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

滋賀縣下郡界變更及郡廢置法律案

滋賀縣近江國神崎郡ノ一部(葉枝見村)ヲ同縣同國愛知郡ニ編入ス

滋賀縣近江國神崎郡ノ一部(葉枝見村)ヲ同縣同國愛知郡ニ編入ス

滋賀縣近江國神崎郡ノ一部(葉枝見村)ヲ同縣同國愛知郡ニ編入ス

滋賀縣近江國神崎郡ノ一部(葉枝見村)ヲ同縣同國愛知郡ニ編入ス

滋賀縣近江國神崎郡ノ一部(葉枝見村)ヲ同縣同國愛知郡ニ編入ス

滋賀縣近江國神崎郡ノ一部(葉枝見村)ヲ同縣同國愛知郡ニ編入ス

滋賀縣近江國伊香郡及西淺井郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊香郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○林宗右衛門君 此第四十四ノ三重縣下郡廢置ノ事ニ就キマシテ少シク政府委員ニ質問ヲ致シマス、三重縣下ニ於テ朝明郡ヲ廢シテ三重郡ヲ置クトゴザイマスガ、此理由ヲ見マスルト云フト、他ハ盡ク兩郡ノ文字ヲ用ヒラレテ居ルヤウデアリマスガ、單リ此三重朝明ノ二郡ニ至ッテハ唯三重郡ト稱スルト云フコトニナッテ居リマスガ、理由書ニハ「大ニシテ且著名ナルニ依ル」トナッテ居リマスガ、此著名ト云フコトハ何カ著シキ據所ガアツテマセウカ一應承リタイ

○政府委員(木内重四郎君) 三重郡ハ歷史上著名ノ郡デ、三重郡ト云フハ古來カラノ書物ニモ見エテ居リマス、且ツ郡モ大キウゴザイマスカラ合スルガ至當ト云フデアリマス

○林宗右衛門君 尙ホ伺ヒマス、郡ガ大キイ故ニ、其大キイ郡ニ對シテト云フト、其朝明ハ小サイカラ廢スト云フ結果ニ爲リマスガ、サウナリマスルト云フト、既ニ此別表ニモゴザイマスル町村ノ數、人口、戶數、國稅、地方稅、町村稅ナリ此朝明郡ヨリモ小ナルモノデ人口ニ於キマシテモ一萬戶位ノモノデ或ハ山田郡並ニ名張郡、飯野郡ノ如キ戶數ニ於キマシテモ四千以下ノモノガ三四郡有リマス、此朝明ヨリハ小ナルモノガドレカラ見テモ三四郡有リマスガ、是ト夫ト甚ダ權衡ヲ得ヌヤウニ思ヒマスカラモウ一應伺ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 御答致シマスガ、是ハ郡ノ大小人口ノ多少ノミニ依ッテハゴザイマセヌ、其地方ノ人民モ満足シ、又歷史上ニモ餘リ反ゼズ、又稱呼ノ聞ヘノ宜イヤウナ色々ナ事ヲ參酌シテ定ムルデアリマス、一ツノ標準デハナイ、其他尙ホ質問ガアレバ委員會デ御答ヲ致シタイと思ヒマス

○田中芳男君 本員モ聊カ質問致シトウゴザイマス、唯今問題ニ爲ッテ居リマスル島根縣ノ所デゴザイマスガ、衆議院ノ方デ抹殺シテ朱クナツタ所ガアリマス、一向本員ハ此抹殺シタ土地ハ巡迴モシタコトガゴザイマセヌカラ、更ニアチラノ様子ハ存シマセヌガ、然ル處昨晩ノ夜中ニドエライ電信ガ參リマシタ、眼ヲ擦スツテ見マスルト云フト、ドウモ、トンデモナイ事ヲ私ノ方ヘ請求シテ參リマシタガ、定メテ皆サンノ所ヘモ長イ電信ガ參ッタカモ知レマセヌガ、衆議院ノ所ヘ長イ電信ガ參リマシタ、定メテ是ニハ理由ノアル事ト思ヒマスガ、衆議院デ抹殺シタノニ政府ガ御同意ニナリマシタ所ヲ見ルト、政府ノ案ト云フモノハ甚ダ不都合デアツタカラシテ、衆議院ノ抹殺ニ御同意ナスツタノデゴザイマスガ、如何デゴザイマスガ、一應伺ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 原案ノ調査ガ粗漏デアルトカ或ハ地方ノ狀況ニ背イテ居ル缺點ガアルト云フ次第デハナイノデ、原案ハ最モ地方ノ狀況ニ適當シタモノト認メテ色々ニハ地方カラ意見書モ出テ居リマス、要スルニ原案ガ適當ダト云フノデ提出致シマシタ、然ルニ衆議院ノ委員會デ島根縣選出ノ議員杯ガ色々地方ノ狀況ヲ陳述シテ、是ハ各郡獨立デナケレバ人心ハ和合セヌ是非サウ云フコトニシタイト云フコトデゴザイマシタ、其他ノ縣カラ出テ居ル議員モツレニ贊成シテ、コチラノ辯明ガアルニモ拘ラズ一々政府ニ贊成

問ガアリマシタガ原案ノ方ガ大體宜シクアルノデアアル、ケレドモ各郡獨立ニスルコトハ自治ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來マセヌモノデ、一ツニスルガ都合ガ宜シイ、既ニ法律ヲ議會ニ提出シタ以上ハ多少ノ修正ハ固ヨリ覺悟シナケレバナラヌ、即チ議會ノ意思ハ何レニ在ルカラ問フガタメニ提出シタノデアアルカラ少シモ原案ヲ狂ゲルコトハ出來ヌトマデ維持スベキ根據ハナイ、故ニ衆論ガサウデアレバ、強テ反對ハセヌト云フノデ斯ウ云フ事ニナッテ居リマス、併ナガラ雙方トモ色々陳情ヲ致シテ居ル様子デアリマスカラ貴族院デ原案ノ方ガ至當デアルト御認メニナルナラバ勿論ソレデ宜シイノデ、政府ハ何レトモ強テ主張スル程ノ根據ハナイノデアリマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○林宗右衛門君 此特別委員モ九名ニ致シマシテ議長ニ委託ヲ致シタイ

○小原重哉君 贊成

○關田可通君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 林君ヨリ委員ノ選定ヲ議長ニ委託スルト云フ動議、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ鐵道敷設法中改正法律案、衆議院提出、第一議會ヲ開キマス、提出文ノミ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)
鐵道敷設法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年二月四日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

鐵道敷設法中改正法律案

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條中央線第一項ノ線路中「神奈川縣下八王子」ヲ「神奈川縣下神奈川」ニ改ム

同條中央線及北陸線ノ連絡線ヲ左ノ通り改ム

一 岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道

一 前項ノ線路ヨリ分岐シ若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

第九條中金六千萬圓ヲ金六千七百萬圓ニ改ム

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○箕作麟祥君 本案ノ審查委員モ九名ニ致シマシテ議長ノ御選定ニ任セマス

○男爵西五辻文仲君 贊成

○子爵板倉勝達君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 賛作君ヨリ委員ノ選定ヲ議長ニ託スルト云フ動議此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官朗讀)

午前十時開議

第一 民法中修正案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

會 議

第三 獸疫豫防法案(政府提出、衆議院回付)

第一讀會

第四 日本勸業銀行法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第六 農工銀行法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第八 農工銀行補助法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十 復祿及復族祿ノ請願

會 議

第十一 地價特別修正ノ請願

會 議

第十二 山陽鐵道線延長ノ請願

會 議

第十三 排水器試驗場設置ノ請願

會 議

第十四 軍港及商港設置ノ請願

會 議

第十五 電話施設普及ノ請願

會 議

第十六 郡分合ニ關スルノ請願

會 議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 今日ハ散會

午後一時十一分散會